

一
震災
時
諸
公
報



震災當時の

公報類

橫濱市役所
申告

一、法人の稱號 一、所在地 一、設立年月日 一、存立期間 一、資本總額 一、拂込總額 一、一株の金額拂込額 一、支配人の住所氏名 一、取締役の住所氏名 一、監査役の住所氏名 一、社債發行額 一、備考

合資(合名)會社に關する申告

一、法人の稱號	一、所在地	一、設立年月日	一、存立期間
一、資本總額	一、支配人住所氏名	一、有限無	一、有限無
限責任社員	の住所氏名	めい及其の出資額	一、備考

六百八十八教室の建設必要

市内に於ける小學兒童はしん 其他で四室は準備せねばなら
吳前五萬六千人であつたが其 中當分教室は八百三十三室を
の后名地へ避難した者もあつ 要する見込みである爲めに殘
て現在では四萬三千人位あつ 存教室は僅に百四十五室に過
模樣である而して之を一學級 ずつ新材料又は舊材料を以て
兒童平均六十人宛とすれば七 殘り六百八十八教室をバラツ
百十七學級となり同數の教室 方式として建設するの必要が
を要する外に一學校に教員室 がある

徵發材量三百石に達す

本市の管理に屬する横濱ドック製材工場は、建設技師主任となり去る十四日修理を開始し、その年數を占め北海道、松本工事の急いだ結果、十六日には試運転を行運びに至り、爾來漸次機械の正調を見るに至り、連日朝七時頃から午六時よで大工八、六十のいを使役し、製材工場に從事しつゝ、使役し、製材所里見、浅野製材町町が村は主に橋梁、税關、棧橋の復舊事業開始に至れば、製材能力増材料バツタ、建設材料に充て大し相當需要に應じ得る。

十月七、八、九の三日間開會

本市の組業復興に就き組業復興時議會を開く事となり此の時
典會では二十五日組合評議員至豊福井の松井文太郎(組長)
會を召集し出口、上甲、加藤、氏に連累すると共に福井、
西田、秋山、龜井の諸氏を桑川、富山、福島、群馬、栃木、
協議の結果食々たる十月七、京都、愛知、岐阜、山梨、
八、九の三日間役所同階會 王子等の全國十九ヶ所組合に
議室を借りうけて臨時及び定款、通知を發した

港內碇泊艦船

第三戰隊司令部の二十五日現
在調査に依る本港在籍汽船
数は軍艦六隻、驅逐艦九隻、日
汽船三十隻、外國汽船十隻とい
ふ概算行貨物を搭載せるもの
したので鐵道省に照
を調査すると湖南九の衛生材
處數日中に無貨

復舊工事は終

雜貨九千個長丸の建築材料 つゝあるが今回
一四四一第七萬竿丸の材木五 會館に至る二時
〇〇繩薙四〇〇噸 二御崎丸 間の工事も完成し
米一二〇〇〇 雜貨下駄一六〇 水可能となつた扱
國昌福丸の朝鮮白米七四七噸 までの給水量は十

市配給所において

三つの米類が主たる輸出品となつて、救済材料、食糧品雜貨等にして本邦に陸揚せらるべき貨物の甚だ豊富なるを知るべく京都市よりの寄附に係る細京都米約千二百石其他輕が多數を搭載し二神戶港を出港せる救済船は昨二十六日午後十時許に入港した。

此處數日中

樺民の避難備國に就いては
從來鐵道其他の無賃輸送を行
三五四五一〇〇千圓
乳一素銀五圓四二台

大しん後外人の大半は神戶

土曜開品三四二アシベラ
六磅子二〇〇一ツ一鍋一
箱八八圓二九五零一四野
菜五八九俵乳一箱五五道四
二

復乗は五割引き

鐵道次官の通牒

他の地方に於て頗るゆるぎ
の陸上停泊の南生號に約廿
二の港上に壹百五十の合計
百六十のいを算す右数據の方
法として南生號には英國副領
事トーマス氏を初め數いの
委員を設け陸上にてはメー
ス氏等特許家及數生軍士

月しんさい救護團とも連絡

左の如く通報があつた
しん災罹災者にして一旦他
宜の地點より無資遣に依り
避難したる者を更に故郷を
避難知人の群へ歸行する
御覧のかたは附近外人に越旨
知合に於ては現避難地を所
御通知あらんことを乞ふ

立憲政社事也所謂、五股

横濱公園内の
「義勇團」
ん異の當初において落延び
公園内に避難せるものは各
九十九太神宮八〇三英人メ

大櫻橋邊間町等三ヶ所の町

を組織し配給事務、保護事を從事し且つ公團内に地方の仮泊所設備し、配給倉庫の設置に就いては現に同團努力に異かる所甚大なるもあつた

新警備司令官來濱

陸軍技術部の支隊を設置

終行所を達して各二百人病

達したるが二十六日の就職人六十五人にて男は全部役人夫である。尙この中輸出會社の事務員として採用された者一人あり條給は六十五圓である

彼努力を寄せられてゐる事は

又通電營業部等に關する打合
更にふまでもなき啓明の事に
關するも亦通に通信に懸念に

において一切を處理

と爲り本には右技術部支那に以上五十歳以下の孤女寡婦を限り給費生五十めい貧費生五十めい計百めいの人員決定である

會社印鑑發行

法人會社にして印鑑證明申請ありたるときは從來保存の印鑑擦滅失に依り此陳新に印鑑

その後の
判明死本

導染丙替妙な

市中に於ける傳染病は衛生其の良しきを得た爲意外に少く二十三日は赤痢四名腸チフス二名二十四日は赤痢一名の發生を見たのみだが市民は嚴重なる注意を要する

役所に申出られ度し(○の字不明)

山下町一〇五番館
山道つる
山越器所持
めい刺
赤原力藏
中村徳平
水原の母印所持

郵船東洋汽船の好

かる避難民無賃輸送も廿五日にて打ち切りとなりしを以て乗船市民に便宜を興ふる爲め從容保護中である 逃兒は左の如くである

山下町一三九藥店玉けい六所も廿五日限りで廢止するこ

西の火災害に關し要

醫會岩手平康看龍郷學校校長
事三田俊久郎氏から多數の寄
る過無き孤女子及び寡婦を保
護し且つ女子の職業としての
産業及び婦徳の臨時養成をなす
べく準備整つたから選定の上

大阪府外六縣聯合の

長女山下きよ九才、同よし
系、横濱産附近近原産八才
才、支那街ちえ子五才、戸
都町長野平四郎六才、支那
町京九才、南太田町二〇〇
十六橋は才十一才

以府外二府六府聯合

救護病院は此の程竣工したの携へて來濱一兩日中には傷痍で院長醫學博士澤村榮美副院の診療を開始する豫定である

市民諸君へ

各師團から來た救護班は
傷病者の救護に努めて居
ますが土地不案内の爲め
困難して居ますから在郷軍人
青年團、一般市民諸君は何
分の便宜をはかつて下さい
救護のことは人命にかゝる大
切な仕事ですから

関東戒嚴司令部

關東戒嚴司令部情報

九月八日

第五號

戒嚴司令部情報部

●戒嚴令トハ

今同布告シタル戒嚴令ト云フノハ災害ニ基ク安寧秩序ヲ保ツ爲地方ノ行政司法事務中安寧秩序維持ニ關係アル事件ヲ限リ戒嚴司令官ニ指揮權ヲ委任セラレ一定ノ土地兵力ヲ以テ警戒セシムルト共ニ市民ノ被害ヲ軍隊ノ實力ヲ以テ救護救恤セシメラル緊急勅令ヲアラ

●各地狀況

- 一 鎌倉、藤澤、大船、茅ヶ崎附近ハ漸次人心鎮靜シ藤澤附近ハ物資相當ニ豊富ナリ同地警察署長ハ附近鮮人ヲ一ヶ所ニ集メ食ヲ給シ保護ヲ加ヘアル爲流言少ク地方自衛團モ單ニ火災ヲ戒ムル程度ニシテ武器ヲ携帯スル等ノモノナシ
- 二 第十五師團通信隊ハ二日以來沼津以東ノ電話線架設中ノ處七日夕東京マテ作業ヲ完成シ八日以後横濱以西ハ二條トナル等ナリ
- 三 靜岡縣下各地損害ノ概要左ノ如シ

(靜岡憲兵隊報)

三島	家屋倒塌	死者
熱海	五〇	二
伊豆	一、六〇〇	約五〇
小山	一、八〇〇	約六〇
御殿場	一、三〇〇	約五〇〇

●補給部業務實施狀況

九月七日各配給部(司令部)ニ於ケル配給概況左ノ如シ

- 一 田端配給部
主トシテ山手線ヲ利用シ郡部及小石川方面並澁谷方面ニ左ノ如ク輸送配給セリ
- 池袋方面
二一貨車(内米一五貨車)
- 目白方面
四三貨車(内米二〇貨車)
- 新宿方面
二貨車(米)
- 澁谷方面
六五貨車(内米三七貨車)
- 四四貨車(内米二九貨車)

此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ニ貼テ下サイ

- 原宿方面
一貨車(米)
- 惠比須方面
一貨車(米)
- 大崎方面
一貨車(米)
- 品川方面
二車貨(米)
- 計
米約一七、五〇〇俵

- 二 新宿配給部
主トシテ田端配給部ヨリ山手線ニヨリ廻送シタル糧食ヲ左ノ如ク配給ス
- 牛込區
四〇〇俵(米) 副食物若干
- 四谷區
五〇〇俵(米) 副食物若干
- 新大久保
一、四五〇俵(米)
- 高田馬場
二貨車(米)
- 麻布區
二〇〇俵(米)
- 世田谷村
米約三、〇〇〇俵

三 龜戸配給部

- 南葛飾郡
本所區
二、五〇〇俵 副食物若干
- 深川區

四 芝浦配給司令部

- 晝夜發行揚陸中ニシテ其效程明ナラサルモ在郷軍人ノ協力ヲ得テ作業大ニ進捗中ナリ
- 米約六〇〇俵 副食物若干配給セリ
- 之ヲ要スルニ昨七日配給總量ハ米約二萬俵及副食物ニシテ概ネ所要量ヲ配給スルヲ得タリ

●名古屋地方ニ於ケル其後ノ狀況

- 一 四日來名古屋市在住鮮人約二千名不穩ノ形勢アリトノ流言浮説盛シナリシ爲人心甚タシク動搖シアリシカ第三師團司令部及愛知縣警察部ニ於テハ流言蜚語ノ出所ヲ確メ其ノ虛妄ナルコトヲ發表シ或ハ新聞紙ヲ通シテ市民ノ自重ヲ促ス等人心ノ鎮靜ニ努メタル結果五日ニ至リ漸次鎮靜ニ向ヘリ
- 二 岐阜縣ニ於テモ四日來關ヶ原附近在住ノ鮮人(約百名)不穩ナリトノ流言アリシモ其後何等ノ異常ヲ認メス

關東戒嚴司令部情報

第七號

九月九日

關東戒嚴司令部情報部

◎東京市及附近道路ノ整理

市内道路ハ市當局ニ於テ極力整理中ナルカ軍隊側ニ於テモ警備隊司令官タル近衛、第一兩師團長、隸下工兵部隊ヲ督シテ修繕、整理ニ努メ八日迄ニ左ノ如キ進捗ヲ見タリ

- (1) 枕橋、自動車通過程度ニ新設 近衛工兵大隊
- (2) 厩橋、橋床ヲ輕車輛通過ニ修理 工兵第一大隊
- (3) 神田橋、吾妻橋、栗平橋、千歲橋、一ツ橋、御茶水橋、小石川橋、組板橋ノ諸橋梁ハ近衛第二、第八、教導隊ノ各工兵隊ニテ修理中一部ハ八日開通ノ見込
- (4) 永代橋ハ徒歩者、サイドカー通過程度ニ修理
- (5) 日本橋、京橋、本所、深川方面ノ交通整理
- (6) 鍛橋ハ七日完了
- (7) 六郷川本道上ノ諸橋梁ノ修理ハ九日午前中ニ半永久のニ完成スル豫定
- (8) 江東橋ハ鐵道第二聯隊ニ依リ十一日迄ニ半永久のニ修理中ナルモ一時通過ノ爲工兵第一大隊ニテ舟橋ヲ架設シ六日完成セリ
- (9) 二抗力不十分ナル橋梁ニハ維持ニ必要ナル諸件ヲ標示シアリ通行者ハ標示ノ規定ニ遵フヲ要ス

工兵第一大隊

工兵第十三大隊

◎衛生機關活動ノ狀況

- 一 九月七日東京市及附近ノ陸軍救護所ニテ處置セル傷病者約三千名收容患者約四百名ナリ
- 一 目下市内ノ救護業務ハ漸ク整備セラレタルモ市郊外殊ニ東部地方ハ未タ救護ノ緒ニツカサル狀況ニアリシヲ以テ陸軍救護班ハ主力ヲ該方面ニ移動セシメタリ
- 一 新ニ開設セル主ナル救護所左ノ如シ

大島町小學校

中根岸小學校

- 一 牛込第四中學校ノ臨時陸軍病院ハ八日ヨリ收容シ得ル豫定ナリ
- 一 目下横濱ニ二箇、小田原ニ一箇ノ陸軍救護班活動シアリ尙八日中ニ藤澤、横濱ニ各一箇九日朝迄ニ神奈川ニ二箇至スル等ナリ
- 一 補給用衛生材料トシテ第三師團ヨリ三十梱包第九師團ヨリ二百四十梱包到著ス引續キ地方公共團體ニ

補給セリ

◎近縣各地ノ狀況

横濱 人心動搖ノ兆アリシモ八日夜歩兵第三十六聯隊ハノ一大隊到著セリ

八王子 損害少ク安靜ナリ

厚木 震災ニ次クニ火災ヲ以テシ損害大ナリ

伊勢原 殆ト潰滅

高崎、前橋 一時人心動搖ノ兆アリシモ平靜ニ復シツ

水戸地方 被害大ナラス流言ノ爲一時人心動搖セシモ漸次平穩ニ赴キツツアリ

◎帝國在郷軍人會ノ活動

今回ノ大震災ニ際シ、帝國在郷軍人會本部ニ於テハ罹災民ノ救済、訖傳ノ防止、安寧秩序ノ維持ノ爲ニ當局ノ施設ト相俟ツタ最善ノ努力ヲナスコトシ報効會、義濟會、愛國婦人會、軍人後援會等ノ熱烈ナル援助ヲ得テ、大ニ活動シツツアリ而シテ其第一次計畫ニ屬スルモノ次ノ如シ

- 一 震災地域ノ支部ニ對シテ、救済及活動資金トシテ數萬圓ヲ分配シ、本部事務所ヲ陸軍省構内ニ移シ本部ノ建物並ニ丘山學校ノ建物ヲ借受ケ之ヲ開放シテ罹災者ノ避難所ニ充テ、尙別ニ大避難所ノ建設ヲ設計シツツアリ
- 二 罹災者並活動シツツアル罹災地會員ニ對シテ既ニ第一回ニ於テ重燒パン約千貫目雜糧肉約數千貫目ヲ第二回ニ於テ米數十石ヲ頒テ尙大々的ニ糧食ヲ集積シテ之ヲ配給スヘキ計畫中ナリ
- 三 全國會員ニ檄シテ、金品ヲ寄贈ヲ求メ、又救護用被服ヲ購買ヲ開始シ、全國ニ互リテ分會ノ勞力提供ヲ求メ、既ニ糧食其ノ他諸材料ヲ携行上列シテ救恤事業ニ從事スル者、宇都宮、飯田、仙臺、盛岡、佐倉、桑名、水戸、徳島、岐阜支部ヲ合シテ數千人ニ上リ尙陸續來援ヲ申込ミツツアリ
- 四 一般民ニシテ軍服ヲ著用シ在郷軍人ヲ裝ヒテ自己ノ行動ヲ購著スルノミナラス、虚説ヲ捏造流布シ、殊ニ此等ノ中ニ社會主義者ノ惡思想宣傳ヲハカルテ、在郷軍人ニ累ヲ及ボスコト甚タシキヲ以テ本部ハ分會ニ通知シテ一層ノ取締ヲ嚴シキ人心ノ安定ニ努力シツツアリ

此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ニ貼テ下サイ

關東戒嚴司令部情報

九月九日

第八號

關東戒嚴司令部情報部

◎連絡ニ任セル飛行機事故

各務ヶ原、東京間連絡飛行ニ任セル飛行第一大隊工兵曹長小沼淺次郎ハ甲式三型一〇四二號ヲ操縦シ九月八日午後三時三方ヶ原ヨリ三島練兵場ニ著陸ノ際重傷ヲ受ケ生命危篤ナリ

但シ搭載セル托送物ハ四ノ宮大尉之ヲ中繼飛行機ニ轉載シ午後二時十五分出發東京ニ到着セリ

◎永代橋開通

永代橋ハ八日乗用自動車ノ通過ニ支障ナキ如ク修理ヲ了レリ

尚兩國、柳島、五之橋ヲ經テ小松川ニ至ル道路ハ自動車ノ通過自在ナリ

又小名木川航路開通作業ハ工兵第十三大隊ノ手ニ依リ八日午後五時完成セリ(第一師團報告)

◎九月六日以後八日午後三時迄

ニ到着シタル部隊

仙臺師團ノ歩兵二聯隊

名古屋師團工兵大隊及衛生隊

北海道師團ノ衛生隊

弘前師團ノ歩兵二聯隊

金澤師團ノ歩兵二聯隊

姫路師團ノ衛生隊ノ一部

高田師團ノ衛生隊

豊橋師團ノ衛生隊(小田原方面)

京都師團ノ工兵大隊ノ一部

◎陸軍自動車二箇中隊ノ増設

羅兵民ノ救護搬送ニ盡事シタル陸軍自動車隊ノ不足ヲ補ハントメ陸軍ニテハ新タニ市中ノ自動車ヲ借り上ケ臨時自動車二中隊ヲ増設セリ

◎陸軍造兵廠ノ作業開始

板橋一條方面ニ於ケル陸軍造兵廠ノ諸工場ハ震災後速カニ整理ヲ完了シ來ル十日ヨリ作業ヲ開始シ得ルニ至レリ

又小石川東京工廠ニテモ八日既ニ一部ノ手作業ヲ開始セリ

◎災害ニ對スル工兵及交通兵ノ活動

災害救済ノ緊急條件ハ交通整理ト糧秣補給ヲ先決問題トシ之ニ全方ヲ傾注シアルカ交通整理ニ關シテハ昨八日迄ニ完成セル主要ナル作業左ノ如シ

一、東京市内ノ整理

隅田川其他ノ河川ニ架セル諸橋梁ノ墜落ハ市民交通ノ杜絶ヲ來セルヲ以テ全軍工兵ノ主力ヲ以テ之レカ補修ニ努力シテアリ

(1) 近衛、第一、第八師團工兵隊ハ既ニ吾妻橋及秋橋ノ補修ヲ完成シ引續キ今朝日中ニハ脱橋、業平橋ノ完成ヲ見ントス

(2) 第一、第七、第十三師團ノ工兵隊ハ永代橋、相生橋及六郷川ノ橋梁ヲ補修シツツアリ近ク完成ヲ見ントス

又永代橋、月島ノ渡船ニ從事スルノ外北十間川、堅川、小名木川ノ墜落橋梁ヲ整理排除シ舟行ノ便ヲ開クニ當タリ

(3) 市内交通路ノ清掃
道路上ニ倒壞セル大建物電線及電車ノ殘骸ヲ掃除シ主要ナル交通路ハ概ネ自動車ノ往復ニ支障ナカラシメタリ

尚引續キ其他ノ道路ニ向ヒ作業ヲ進メツツアリ二、横濱、藤澤、小田原方面ハ第十四、第十五師團ノ工兵隊ヲシテ前記同様活動ニ從事セシメツツアリ尚今後工兵隊ヲ増加セントス

三、鐵道復舊作業
鐵道幹線ノ不通ハ市民ノ死活ニ關スルヲ以テ鐵道第一、第二聯隊(國軍ノ全力)ヲ出動セシメ先ツ東京市内ニ於ケル破壞紛糾セル通信線ヲ縫ヒツツ飛殿司令部ヲ基點トシテ先ツ各官廳公共團體ニ向ヒ統一セル電話回線ヲ整備シ更ニ昨七日横濱東京間ノ鐵道電線ヲ完成セリ

又工兵第二大隊ノ手ニヨリ沼津——東京間ノ電話モ本八日開通スルニ至レリ

尚東京ヲ基點トシテ横濱、清水港、立川等ニ無線電信ヲ配置シ災害地域内ノ通信ヲ擔任スルノミナラス中野、石狩(北海道)及金澤ノ固定六無線電信所ヲ運用シ廣ク隔地トノ連絡ヲ實施シ公衆ノ便ヲ計リツツアリ

四、電信電話ノ復舊作業
活動ノ神經系タルヘキ通信線復舊ノ爲電信第一、第二聯隊(國軍ノ全力)ヲ出動セシメ先ツ東京市内ニ於ケル破壞紛糾セル通信線ヲ縫ヒツツ飛殿司令部ヲ基點トシテ先ツ各官廳公共團體ニ向ヒ統一セル電話回線ヲ整備シ更ニ昨七日横濱東京間ノ鐵道電線ヲ完成セリ

又工兵第二大隊ノ手ニヨリ沼津——東京間ノ電話モ本八日開通スルニ至レリ

尚東京ヲ基點トシテ横濱、清水港、立川等ニ無線電信ヲ配置シ災害地域内ノ通信ヲ擔任スルノミナラス中野、石狩(北海道)及金澤ノ固定六無線電信所ヲ運用シ廣ク隔地トノ連絡ヲ實施シ公衆ノ便ヲ計リツツアリ

五、鳩通信
遠隔ノ地ニ於ケル災害ノ狀況ニ關シ敏速ナル報告ヲ齎シ地方救援ハ爲功ヲ奏シツツアリ今ヤ東京市ノ上空ニ活動シアル軍用鳩ハ四百ニ達ス

●此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ニ貼テ下サイ

關東戒嚴司令部情報

第九號

九月九日

關東戒嚴司令部情報部

糧食集積狀況(九月九日陸軍省公報)

今回ノ震災ニ際シ陸軍ハ直ニ大阪及宇品ノ兩陸軍糧秣支廠、宇都宮、仙臺、高田、豐橋、名古屋、旭川、小倉ノ各師團並朝鮮軍及關東軍ニ糧食品ノ調辦發送ヲ命シ其結果九月九日迄ニ東京附近(芝浦及田端附近)ニ到著スル糧食品ノ概數左ノ如シ

米	約三萬六千六百石
精白不明ノモノ	五千五百石
精米	一萬九千七百石
玄米	一萬一千四百石
乾麵	約十九萬四千五百石
罐詰肉	約五萬四千五百貫
漬物	二萬五千四百貫
其他(梅干、福神漬、鰯節、干鰯、調味品)	二萬貫

自九月三日至九月七日被服貸與狀況(軍省公報)

九月三日
患者用トシテ陸軍被服本廠ヨリ毛布二千個ヲ赤十字社ニ貸與セリ

九月四日
患者用トシテ陸軍被服本廠ヨリ毛布五百個ヲ警視廳ニ貸與セリ

此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ニ貼テ下サイ

九月六日

陸軍被服本廠ヨリ毛布二千病衣千帶八百ヲ提供シ罹災患者ノ收療ニ努メタリ

九月七日

陸軍被服本廠ヨリ毛布二千病衣五百ヲ提供シ罹災患者ノ收療ニ努メタリ

糧秣配給ノ手續

- 一、震災地外ヨリ陸海兩路ヲ經テ到著スル糧食ハ關東戒嚴司令部ニ屬スル配給部ニ於テ之ヲ卸下又ハ揚陸(陸軍省ハ海軍)シ之レヲ各名宛(例ハ東京府宛東京市宛等ノ如シ)ノ者ニ配當ス
- 二、右ニ依リ卸下(揚陸)シタル糧食等ハ其受領者ノ希望スル場所迄前項配給部ニ於テ運搬ス
- 三、前二項ノ爲ニ要スル人馬材料等ハ戒嚴司令部ノ要求ニ依リ地方廳ニ於テ之ヲ差出シ陸軍ハ之ヲ統制シテ卸下揚陸運搬等ニ任ス
- 四、以上各項ニ依リ所望ノ地點ニ運搬セラレタル糧食等ハ該地ニ於テ市府吏員ニ配給部ヨリ交付シ市府吏員ハ適當ノ方法ヲ以テ之ヲ各人ニ分配ス

鮮人進テ勞働ニ服ス

九日夕迄ニ鮮人三、七〇〇名支那人一、五〇〇名ヲ習志野陸軍廠舍ニ收容セシカ明日ヨリ希望ニヨリ鮮人約百名ヲ東京市役所ニ於テ道路整理ノ爲使用スル管

關東戒嚴司令部情報

第十號

九月九日

關東戒嚴司令部情報部

◎横濱へ兵力増加

横濱方面ノ警備及救護ノ爲戒嚴司令官ハ歩兵一個聯隊及救護班二個ヲ神奈川警備隊へ増加セリ
右部隊ハ九日中ニ横濱ニ到着ノ筈

◎埼玉ノ警備

一 第九師團派遣ノ歩兵第七聯隊ハ八日埼玉縣下警備ノ任ニ就ケリ
二 浦和附近ハ一時流言ノ爲騷擾セシカ如キモ軍隊ノ到着ト共ニ鎮靜ニ歸セリ

◎陸軍自動車隊ノ行動

陸軍自動車隊ハ九月二日以來全力ヲ舉ケテ救護業務ニ從ヒ今ヤ民間雇傭自動車ヲ合シ百十餘輛ヲ有シ其大部ヲ芝浦、龜戸、南千住、新宿ノ各配給所ニ分屬シ極力罹災民ノ爲糧水、被服等ヲ配給ニ任シ一部ヲ以テ電信電話、鐵道、架橋材料等ヲ輸送シ交通諸機關ノ整頓ニ努メツツアルヲ以テ之カ行動ニ對シ十分援助セラレンコトヲ望ム

◎陸軍經理學校ノ開校

半込區河田町ノ陸軍經理學校ニテハ震災當日以來學校ヲ開放シ一般罹災者ヲ收容シ又九月八日ヨリ至誠病院モ同校内ニ施療所ヲ設ケ學校職員ト協力シ傷病者ノ救護ニ努メツツアリテ陸軍ヨリハ之ニ醫療材料藥品等ヲ供給シツツアリ
尙同校ニハ若干ノ收容餘力アルヲ以テ希望ノ者ハ申出ツヘシト

◎陸軍救護所ノ位置

一 陸軍救護所ノ位置左ノ如シ
近衛師團第一救護所 東京府下隅田小學校
同 第二救護所 淺草公園

●此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ヘ貼テ下サイ

近衛師團第三救護所	兩國國技館
同 第四救護所	府下寺島第七中學校
同 第五救護所	府下吾嬬町第一小學校
第一師團第一救護所	兩國國技館
同 第二救護所	芝公園
同 第三救護所	府下砂町小學校
同 第四救護所	深川糴秣廠跡
同 第五救護所	府下砂町小學校
同 第六救護所	下谷金杉小學校
同 第七救護所	府下第四中學校
同 第八救護所	横濱
第二師團救護所	藤澤及鎌倉
第三師團救護所	藤澤及鎌倉
第四師團救護所	府下大島町小學校
第六師團救護所	府下砂町小學校
第七師團救護所	横濱
第八師團救護所	千葉縣習志野
第九師團救護所	千葉縣國府臺
第十師團救護所	府下龜戸町小學校
第十一師團救護所	小田原
第十二師團救護所	横濱
第十四師團救護所	半込河田町學校内
第十五師團救護所	七二二
第十六師團救護所	七二二
陸軍經理學校	七〇〇
北都警備管區	一七八(收容人員ノミ)
南部警備管區	一六、九三三
千葉方面警備管區	不明
軍醫學校	
計	
横濱及小田原方面	

關東戒嚴司令部情報

九月十日

第十二號

關東戒嚴司令部情報部

◎陸軍自動車隊ノ行動

軍隊ノ自動車ノ運送生起以來全力ヲ舉ケテ罹災民ノ救護糧食飲料水ノ運搬其ノ他各種ノ救済事業ニ従事シテ然ルニ動モスレバ軍隊ノ自動車ハ軍隊其ノモノノ爲ニ働ケルカノ如キ感ヲ懷キ時トシテ自動車ノ行動ヲ妨グセルモノアルヲ耳ニセルカ軍隊ノ自動車ハ絶ニ専ラ罹災民ノ爲ニ行動シツツアルナリ

尙軍隊ノ自動車ノモトハ不足ナルヲ以テ市中ノ自動車ヲ借上ケテ臨時ニ自動車ニ中隊ヲ編成シ「自動車隊」ニ張リ札ヲ附シ極力罹災民ノ爲ニ活動シテアリ故ニ萬一此等ノ自動車ノ行動ヲ妨グセハ一般市民ノ救済ニ少ナカラサル不利ヲ來スヲ以テ此點ハ特ニ一般ノ注意ヲ望ム

◎鐵道聯隊ノ行動

鐵道第一、第二ノ兩聯隊ハ品川橫濱間ノ鐵道修理完成後第二聯隊ハ品川橫濱間復舊工事ニ從ヒ九日中ニ丁ル後第一聯隊ハ東武線北千住、龜戸間ノ修理ヲ完了シ一部ノ運轉ヲ開始セリ

又鐵道第一聯隊ハ主力ヲ以テ橫濱大船間復舊工事ニ、一部ハ房總線江見大貫間ノ復舊工事ニ従事シテアリ

◎各地ノ狀況

橫濱市附近

七日迄ノ調査ニ依レハ死者二萬三千傷者三萬七千ニ達シ電報ノ當分留ミナク上水ハ工兵小隊ヲ以テ改修中ナルカ兩三日中ニ完成ノ見立ナリ罹災者ニ改修シテ他地方ニ避難セルモノ七、八萬バラツク若クハ學校ニ收容シタルモノ約十萬アリ、鮮人ニ關スル風評モ軍隊ノ整備ト共ニ漸次沈靜シ、糧食モ大ナル支障ヲ來サズ人心稍安定セリ

工兵隊ハ全力ヲ舉ケタ市内交通ノ復舊ニ従事シツツアルモ自動車等ヲ通スルハ海岸通及羽衣町通ニ過キス但シ一兩日中ニハ乘馬ノ行動ヲ許スニ至ルヘシ特ニ増加セラレタル歩兵第五聯隊ノ二大隊ハ九日到着セリ

尙解放セシ四人組員約八百五十名中歸來セルモノ約六百名、歸來セザルモノ約二百名、死亡セルモノ約五十名ナリ

小田原地方

被害甚大ナリシニ加ヘ橫濱方面ヨリノ避難者ニ依リテ法行ハレ一時人心不安ニ陥リシカ靜岡及東京兩方面ヨリスル警備隊ノ到着ト共ニ漸次沈靜ニ歸シツツアリ

埼玉、千葉、栃木、群馬ノ各縣ニ於テモ一時流言ノ爲ニ動搖シタルモ警備軍隊ノ配置ト共ニ漸次沈靜セリ然レ共流言ハ逐次ニ擴カリ行キ軍隊ノ派遣ヲ請求シ來ル地方多シ

◎在北島米國陸軍ノ震害救援

一「マニラ」米國海軍主計總監ハ晝夜不眠不休ノ努力ヲ以テ部下ヲ指揮シ數隻ノ米國御用船ニ食料品其他ヲ積込中ナリ右御用船ハ午後五時「マニラ」出發ノ豫定

二五日「マニラ」入港ノ豫定ナル米國軍艦「マリット」

號ハ必要ナル救護品ヲ積載シ七日「マニラ」發日本ニ向ケ出勤ノ豫定ニシテ同艦ニ「ヒリヲ」爲軍司令官「リード」陸軍少將ヲ引率スル 陸海軍軍醫、看護婦其他ノ救護隊軍艦

三「マニラ」陸海軍倉庫アル駐臺五五〇臺其他輕便寢臺幕布、毛巾、衣服、醫藥品、食糧、麥粉等ノ物資ハ續々日本ニ向ケ急送ノ筈ナリ

◎陸軍衛生隊ノ行動

一 九月八日中ニ陸軍ニ於テ救護セラレタル傷病者約五千名收容セラレタルモノ約五百名ナリ

一 日本普通等、小倉南衛門救護班員名、材料共ニ到著シ直ニ千葉縣ニ向ヒ出發セリ取敢ハス國府臺及津田沼ニ於テ業務ヲ開始スルノ豫定ナリ

一 陸軍救護班ハ狀況ニ應ジ逐次移動シツツアルモ日下業務開設中ノ東京市附近ノ救護所及陸軍病院ノ位置左ノ如シ

世田谷 東京第一衛戍病院
九段 陸軍軍醫學校
牛込市ヶ谷谷町 府立第四中學校
芝園橋 陸軍士官學校
下谷 中根岸小學校
飛鳥山
田端
南千住
墨田村第七中學校
寺島村第七中學校
吾妻村小學校
龜戸町小學校
兩國國技館
深川八幡社
月島
大島町小學校
砂町小學校

一 昨八日ヨリ衛生材料廠假事務所ハ自動車ニ材料ヲ積載全救護班ヲ巡回シ材料ヲ補給シ圓滑ニ實施セリ衛生材料ハ各師團ヨリ續々送致シタリ又材料廠ノ購買モ豫定ノ如ク進捗シ材料概ニ豊富ナリ

一 昨八日東京帝國大學醫學部附屬醫院ニ昇床ガトセ五百反ノ衛生材料廠ヲ交付シメタリ

一 本日日本赤十字社ハ傷者約二萬六千人一日分オレ一ツ油百オンス外十二點及東京帝國大學醫學部附屬醫院ニ患者二萬三千人一日分オレ一ツ石鹼液一〇〇オンス外十三點又傳染病研究所ニ患者約三千人分一日分イチオール二〇オンス外二十點ノ衛生材料廠ニ交付シシメタリ

市民諸君

各師團ヨリ派遣セラレシ救護班ハ夫々所屬ノ位置ニ就キ罹災傷病者ノ救護ニ努力シツツアルモ土地不案内等ノ爲業務遂行上自由ヲ成レシツツアルニ在リ在リ及附近住民諸君ハ夫々業務繁忙ナラランモ此ノ人命ニ關スル件ヲ奉仕ノ業務ニ關シ努メテ便宜ト勢力トヲ供給セシメテ切望ス

●此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ニ貼テ下サイ

關東戒嚴司令部情報

第十六號

九月十三日

關東戒嚴司令部情報部

◎陸軍救濟業務ノ擴張

東京市救濟ノ業務今々前途ノ光明ヲ認ムルニ至リタルヲ以テ陸軍ニ於テハ今更ニ小田原、橫須賀、千葉等遠隔ノ地ニ向ヒ救濟業務ヲ擴張スル密ナリ

◎通信網ノ擴張

廣島ヨリ新來ノ陸軍信第二聯隊ハ異常當初ヨリ場通信ノ外通信聯絡ノ途全然杜絶セル小田原、橫須賀、千葉方面ニ向ヒ去十日ヨリ急速ナル作業ヲ開始シタルヲ以テ右區間ニ於ケル情況モ亦近々判明スルニ至ルヘシ

◎橫濱ニ於ケル照明

東京市内ノ交通要點及避難民群集ノ場所ノ照明ノ任シアリタル陸軍照明隊ハ更ニ擴張シ其ノ一部ヲ派遣セリ

◎在郷軍人會活動ノ現況

帝國在郷軍人會ニ於テハ當初決議ノ大方針ニ從ヒ各種團體ノ熱誠ナル協力ヲ得當局ノ施設ト策勵シ實業ト力ノ一切ヲ舉テ在郷民ノ救濟ノ義務ヲ防止、安寧秩序ノ維持ヲ著々實行セリ即チ

◎一罹災地域中配布

治部、深川、駒宮、九段坂上、日ヶ谷公園等ノ諸所ニ取次メ人事相談所ヲ設置シ各種職業紹介員ノ兵隊關係、身分證明其他ニツキ會員ハ勿論一般ノ依頼ニ應ジ日々數千人ノ多數ヲ懇切丁寧ニ取扱ヒツアラリ此事業ハ當ニ東京市ノミナラズ漸次罹災地域ノ全般ニ擴張スル計畫ナリ

◎罹災民ノ對スル糧食ハ主ニ重視

シテ飯、第四回ノ配給ヲ終リ今後モ引續キ配給スル豫定ナリ

◎震災ノ報一度傳ハキ全國ノ會員ハ慨然トシテ

起チ罹災者救濟ノ爲金品ヲ贈出シ勇メタルニシテテス勢力救援ヲ申出スルモノ多ク本日迄ニ到着セタル員既ニ三千ノ上リ續降續來援シツアラリ此等ノ救濟既ハ戒嚴司令部ノ區域ニ從ヒ凡ソル方面ニ活動シツアルカ其ノ範圍ハ廣ク全國ニ及リ就中長崎市聯合會ニ於テハ二十日間ノ糧食ヲ携行シテ來ルカ如キ義侠心ノ旺盛ナル實ニ驚嘆ノ故スモノアリ

◎寄贈品ノ如キモ至急取極メタルハ勿論會員自身

高麗ヲ排シテ携帶上京シ幾谷支部下豊岡町玉川村衣類約五千點外ニ糧品數十捆、水戸支部下玉川村分會其ヨリ鶏卵四百個、餅二斗ヲ始め現ニ續々到着シツアラリ

◎救濟ノ爲メ本部ニ於テ購入セル被服ノ商議モ迅速ニ進捗シ既ニ豫定ノ數量ヲ經得タルヲ以テ今

ヤ達シテ陸軍古被服ノ捨下ニツキ當局ヘ交渉シツアラリ

◎流言蜚語ノ流布ニ關シ火急終絶ノ必要ヲ認メ廣

範圍ニ及リ徹底ノ手段ヲ講セシ

◎右ハ第一次計畫進行ノ實況ナルカ第二次ノ計畫トシテ

更ニ範圍ヲ擴張シ横濱市ニ本部出張所ヲ設ク罹災地全般ニ及リ活動セントシ支部分會ヲ激勵シツテ其準備ニ没々ナリ

◎陸海軍將校婦人會本部ニテ罹

災患者ノ治療開始
陸海軍將校婦人會本部ハ九月十一日ヨリ牛込區若松町十一番地同會本部ハ二罹災患者收容所ヲ開設シ十日ヨリ救護ニ從事シ其要領左ノ通り
一 患者ハ老幼男女又ハ内外科何レヲモ可ナリ
二 入院又ハ外来共ニ隨意ナリ
三 重症患者ニハ附屬ナリ希望ス
四 當所ニハ至誠病院ノ特派醫員及看護婦懇切ニ治療ス

◎身元引受人不明者

陸軍病院及救護班ニ收容中ノ傷病者中通信不能ノ爲身元引受人不明ノモノ左ノ如シ(第二回)
鉤町區三宅坂東第一衛戍病院收容ノ分
氏 名 住 所
松島 清吉 本所區大平町一ノ一片岡長谷一方
植沼 若七 同 區若宮町六二町田方
五十嵐 又藏 同 區林町二ノ六六
清水 源藏 同 區石原町一九
清水 大作 同 區相生町三ノ一六
久保田徳太郎 同 區森町三ノ二
横山 恒市 同 區同町一ノ三四
戸川 さや 同 區同町一ノ三八
村田 フジ 同 區林町三ノ七四發治郎
大澤 よみ 同 區石原町一四
後藤 久吉 同 區松枝町三ノ一七平兵衛
小泉 榮吉 同 區松枝町三ノ一二
佐久間 作造 同 區大工町六二初太郎
鈴木 ナカ 同 區富川町三九
首村 宗次郎 同 區富川町三九
谷根 トモ 同 區富川町三九
谷根 トモ 同 區富川町三九
野口 直次郎 同 區富川町三九
山田 ウメ 同 區相生町五ノ三六
板本 泉 同 區相生町五ノ三六
山田 キタ 同 區相生町五ノ三六
近江 リン 同 區森町四ノ二九
竹田 一雄 同 區宮宮町三
古山 モト 同 區富川町三九
田中 ユウ 同 區富川町三九
小林 リン 同 區富川町三九
野村 カロ 同 區富川町三九
川島 保次 同 區富川町三九
柴田 恒 同 區富川町三九
栗田 仁一郎 同 區富川町三九
上野 徳次郎 同 區富川町三九
松原 健次郎 同 區富川町三九
下村 猛雄 同 區富川町三九
磯谷 みつ 同 區富川町三九
井戸田裕吉 同 區富川町三九
草田 仁一郎 同 區富川町三九
草田 嘉一 同 區富川町三九
吉川 キタ 同 區富川町三九
鈴木 七五郎 同 區富川町三九
神谷 かづ 同 區富川町三九
渡邊 孝太郎 同 區富川町三九
金澤 孝 同 區富川町三九
水田 かね 同 區富川町三九
萩原 ハツエ 同 區富川町三九
内田 源治 同 區富川町三九
坂本 マチ 同 區富川町三九
松井 友雄 同 區富川町三九
太田 龍治 同 區富川町三九
土井 榮雄 同 區富川町三九
光井 幸作 同 區富川町三九
石井 コウ 同 區富川町三九
副田 治一郎 同 區富川町三九
田中 彌兵衛 同 區富川町三九
高野 辰雄 同 區富川町三九

此情報ヲ受取ラレタ方ハ見易キ所ニ貼テ下サイ

第二十二號

關東戒嚴司令部情報部

東神奈川停車場附近 第十五師團救護第二室

右國策ヲ施行スル市内外ノハ、搜索セシメ偽病者ヲ收
匿シテ附近ニ英兵集合所ヲ搜索セシメ偽病者ヲ收
容セシメノ方ニ其數累計約二千五百名ナリ
一陸軍軍醫學校ハ於テ引續キ主トシテ江東方面三十
箇所ノ水質検査ヲ行ヒシメ飲用ニ適スルモノ僅ハ三
〇九月十六日

八月十五日中韓軍入朝

一、本市ノ於テ此所ノ位置設ケル状況左ノ如キ
九段陸軍大學校、日下約五十名、外來者毎日
五十名、
三宅丸京第一衛戍病院、牛込南谷村士官學校、
四ツ谷、日下約三百五十名、牧野、外來漸次減少シテ
七十四名、内約二十名、
田代ト名實東京第二衛生病院、無二種ノ病ヲ治ス、日下收斂數
百有餘名外來亦有名、
日下加町第四中學校、春臨時病院、
現在收容患者二百餘名、外來百四十名、
品川町第七中學校、春臨時病院、患者收容患者
計約七十名、外來五百名、
隅田小學校、臨時病院、
兩國國術講習會館第三診療所、著レシ患者減少ノ數數

一名現在收容約三十名

約百名ア	外來者	約百名ア	外來者
中根平金杉小學校近隣第七救護所 (第二課)	日下毎日	中根平金杉小學校近隣第七救護所 (第二課)	日下毎日
外來約二百五十名ヲ算ス		外來約二百五十名ヲ算ス	
王子ノ救護所(村松町)	田端田端救護所 (第十三課)	王子ノ救護所(村松町)	田端田端救護所 (第十三課)

設置シフアヲ

大島町小中學校砂町救護所
每日約三百名^(第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十)
大島町大島中學校大島救護所^(第八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十)
來患者約五百名^(第二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十)

日下外來者約二百名

日下每日百名內外ノ患者ヲ

橫濱方面

府南醫院及病院　約二百五十名内外ノ患者ヲ
千手堂
四國十ノ救急院　約七百名内外ノ外來患者ト約
小田原第十五團救護隊第一中隊　現在患者三百餘名有之
鎌倉鐵道第十六團救護隊第二中隊　約四百名内外ノ外來患者ト約
神奈川縣第十七團救護隊第三中隊　約五百名内外ノ外來患者ト約
本城小枝隊第十六團衛生隊　每日約三百五十名ノ外
來患者、救急患者二十名存ス
神奈川縣車庫附近第五團救護隊第二中隊　毎日約百
七十名内外ノ外來患者ト約

淺間會社病院第四團救護隊　日下毎日約二百五十
名ノ外來患者アリ入院患者七十七名
患者、四十名ノ入院患者存ス
患者、四十名ノ入院患者存ス

十二間海部諸宗第一
救護場ヲ設ケ毎日約

男志野野野野病院 約二百名内外ノ患者アリ
 附 第十師團救護班 現在六百四十名ノ患者有ス
 北條保田救護所 千原縣佐賀 飯館山ノ麓ニ
 回教班ニ任シ目下保田ニ救護所ヲ開テ毎日約五十名
 ノ患者アリ
 一 本日陸軍ヲシテ地方ニ補給セル衛生材料左ノ如シ
 一 藥 二〇、〇〇〇人ノ對スル一日分 東京帝國
 大學醫學部附屬醫院

易所ニ貼テ下サイ

關東戒嚴司令部情報

九月二十日

第二十四號

關東戒嚴司令部情報部

◎侍從武官ノ御差遣

戒嚴軍隊御恩問ノ御思召ヲ以テ御差遣ノ桑田侍從武官ハ十八日午前九時ヨリ戒嚴司令部及東京北部警備隊ヲ巡視セラレ司令官以下ニ對シ左ノ御沙汰ヲ傳達セラレタリ

天皇陛下ニ於カセラレタハ今同ノ大雲英ニ當リ戒嚴ノ勤務ニ服スル司令官始メ一同ニ對シ深ク苦勞ノ被思召其ノ狀況實視シテ本職ヲ被差遣御沙汰被爲在

右ニ對シ戒嚴司令部福田大將奉答文左ノ如シ
優渥ナル御旨ヲ拜シ一同感激ノ至ニ堪ヘス謹テ御禮申上タルト共ニ益々奮勵死力ヲ竭シ聖旨ニ副ヒ奉ランコトヲ期ス

尙同日濱田侍從武官ハ在浦和中山道方面警備隊ノ狀況ヲ實視セラレ司令官林少將以下ニ對シ同様ノ事旨ヲ傳達セラレ十九日ハ引キ續キ東京南部警備隊及千葉方面ニ、二十日、二十一日ハ小田原、藤澤、横浜方面ニ武官御差遣ノ筈ナリ

◎閑院宮御視察

閑院宮殿下ニハ十七日日本赤十字社總裁ノ御資格ヲ以テ寺島臨時病院ニ御成リ患者並職員ニ對シ有難キ御禮ヲ賜フタカ今十九日ハ早朝ヨリ陸軍省及戒嚴司令部ヲ御視察救護業務及戒嚴勤務ノ狀況ヲ御實視スル芝浦、日本橋、深川、淺草各方面ヲ視察被遊タリ

◎九月十八日ニ於ケル衛生ノ情況

一 九月十七日中陸軍ニ於テ救護セシ傷病者五千餘名ニシテ收容セルモノ五十餘名ナリ本日迄ニ救護セルモノ累計七萬七千餘名ノ報告漏ラ加入スナリ
一 本十八日芝浦上寺ノ宇都宮師團救護班ハ愛媛赤十字救護班ト、中根岸仙臺師團救護班ハ福岡赤十字救護班ト又鶴戶名古屋師團救護班ハ愛知赤十字救護班ト其ノ業務ヲ交代セリ
一 小田原方面ニ派遣セラレシ豊橋師團救護班第一部隊ハ厚木、國府津、大磯、真鶴方面ニ行動シ罹災傷病者ノ救護ニ任シ負傷者ハ概シ其ノ處置ヲ終レリ
一 陸軍ヨリ地方ニ補給セシ衛生材料左ノ如シ
石炭酸 三九二、 外二一點、 日本赤十字社

◎治安維持ノ爲メ浦附近夜間海 面交通禁止ノ件

治安維持ノ爲メ九月十九日以後芝浦附近左記區間ハ關東戒嚴司令部官ニ於テ官憲ノ許可セルモノノ外夜間ノ交通ヲ禁止セラレタリ

左記

日黒川河口ヨリ各臺場外側ヲ經テ湘崎埋立地西南端ヲ連スル線以內ノ海面

追テ本件、海軍ニ於テハ既ニ施行中ナリ

◎橫濱概況

一般ノ情況

橫濱ハ東京ト異ナリ全市悉ク災禍ヲ被リタル爲災害直後ニ於ケル混亂ハ一層甚シカリシカ今ヤ漸ク秩序恢復シ人心モ安定ノ域ニ達セリ、避難民モ遠ク他地方ニ赴クモノハ今日迄ニ概シ移動ヲ終リ現在ハ餘リ多クノ移動ヲ見ス

一 復舊ノ工事

水道ハ十四日保土ヶ谷附近ノ一部ニ配水セシテ始メトシ工兵隊ノ努力ニ依リ漸次其配水範圍ヲ擴大シ最近戸部町及淺間附近ニ配水スルニ至レリ
電燈ハ本校及根岸方面ハ十六日其他ハ大體テ點燈ヲ終リ逐次局部的ニ其ノ完全ヲ遂ケツツアリ、尙工兵隊ハ橋梁ノ修理、架設、道路ノ整理、水路ノ開設等ニ全力ヲ傾注シテツツアリシカ今ヤ市内主要交通路ハ概シ自動車ヲ通スルニ支障ナキニ至レリ

◎橫濱市ノ電話

橫濱方面ニ電信總局建築補修ヲ完了セシ電信第二聯隊ハ其ノ餘力ヲ以テ橫濱市内ニ於ケル軍隊、官衙、公署、學校、公共團體間ノ電話ヲ架設シ更ニ其ノ一部分ヲ民間ニ開放セリ

◎交通情況

御茶水橋上流水路ノ閉塞ハ該地點ヨリ上流ニ氾濫ヲ來スノミナラス造船廠附近飯田河岸ニ通スル主要ノ水路ナルヲ以テ本十九日ヨリ直ニ工兵第二大隊ノ主力ヲ以テ開鑿ノ工事ヲ實施スルコトトセリ而シテ該工事ハ凡ソ二十五日間ヲ要スル見込ナリ

◎鮮人ノ保護

目下習志野ニ收容保護中ノ朝鮮人ハ三千七十五名ニ達セシカ朝鮮總督府ヨリ收容鮮人ニ對シ大要左ノ諭告ヲ與ヘタリ而シテ此等鮮人ハ我官憲ノ保護ニ依リ安心シ居レリ
一 今同ノ大震災ニ當ツテ最モ遺憾ナ事ハ同胞ノ大困感ニ乘シテ不逞ノ企圖ヲ爲シテ者カアリ之カ爲ニ種々ノ風説ヲ生シ民衆ノ激怒ヲ買ツタコトアル然レ流官保護シテ居ル者ハ漸次職業ヲ世話スル考ヲアルカシタ置シテ將來益々内鮮人融和ノ實ヲ舉グル決心ヲ安否ノ氣道ヲ居ルヲ總督府出張所ヲ通報ノ便宜ヲ圖ツタ居ル

第七十六號

九月十日

關東戒嚴司令部并表

薩哈連洲遠軍ヲ糧食采ル

薩哈連洲遠軍ヲ救助用トシテ九記連者用糧食ヲ東京ニ向テ送附セリ

粉米雜卵 凡六八貫

蕎麥 粉 三六九貫

手ラドン 九〇貫

第七十七號

九月十日

關東戒嚴司令部并表

陸軍救護状況 (十日)

一 九月十日中ニ陸軍ニ於テ救護セラル佛病者ハ約三十五百人、敗者タルノ約三百名ニテ漸ク減少ノ傾向ニシ、十日迄ノ救護人員累計ニ万八千名アル
横濱方面ニ於テハ九ノ三個ノ救護所ヲ設置シ、凡日迄ノ救護人員約三千人アル

第十師團救護所

横濱市青木町小學校

第十一師團救護所

全 本牧小學校

第十四師團救護所

野々谷町 本仙寺

二 千葉縣北條方面ノ救護作業中ニ進捗セサルニ鑑ミ、國府台ニテ、第十二師團救護所ヲ同地方ニ移行セシム。

第百八十八號

九月十四日

關東戒嚴司令部 張元節

友邦代理公使ノ礼状

友邦代理公使張元節ハ過リ來東京横濱ニ於ケル在留友邦人被害ノ状ヲ
シテ陸軍外務内務各局長ト若シテ視察ヨナリシカ過日我輩司令官ヲ訪ヒ
我官民ノ好意ニ依リ保護周到ナルヲ感謝シ且尤、如キ礼状ヲ送附ス來レリ

礼状 訳文

敬啓

此次貴國中部ノ震災ハ亘古未嘗有ノコトナリ弊國政府及
國民ハ極メテ同情ヲ表ス弊國居留民カ貴國政府ヲ
救護ヲ受ケ糧食ヲ供給セラル安否ヲ保衛セラルハ厚ク
感謝ス所ナリ貴國救護事務ノ秩序井然トシテ
困窮完備セルハ欽佩ノ至リナリ

本代理公使最モ佛亞ニ派遣セラレ通歐洲大戦ニ
遭遇ヤリ當時各國ノ波難民救護ニ準備時同ク
有セシモノ由貴國ニ於テハ變倉猝、起リシニ拘ラス
能ク經常布置シ且人民ノ安靜ナル事、殊々具ニ法治國ノ精神ヲ
見ルヲ得タリ貴國軍隊ノ整齊嚴肅ナル事ヲハ一教育ノ結果
コレテ歐洲大戦ノ經驗ニ比シテ優勝ナルハ應ニ世界各國ノ稱
讃ス所ナリ此ニ感謝ノ意ヲ述ヘ且貴總司令ニ對シ特ニ
敬意ヲ表ス 謹言

中華民國十三年九月十日

中華總代理公使

張元節

特命全權
公使印

關東戒嚴司令部
陸軍大將 岡田雅太郎 閣下

第八十九号

九月十四日

関東武蔵司令部警察

○横濱、浦和及交通状況

横濱、浦和、野家及諸詰約三八五個、揚子河に上る者、横濱倉庫、船渠倉庫、税関倉庫、南吉田公設市場及新山下町海岸、五配給計、お千食糧品ヲ配給セリ

二、工兵第五大隊ハ交通整理ヲ担任シ昨十日税関橋橋倉庫附近、整理ヲ完成シ十日工兵一中隊ヲ以テ船渠倉庫揚陸場（小橋橋、完成）ノ設備ヲ實施シ其地ノ施設ハ三番ニ連絡シマシ

第九〇號

○武蔵地域今後ノ整備方針

武蔵司令官ハ兵力ニ依ル地方直接整備ハ震災直後ノ混乱状態ニ對シ臨機突進セラルニシテ、永續ス可キモノニアラサルニ鑑ミ民心ノ鎮靜秩序ノ恢復ニ伴ヒ整備ノ實ヲ遂次地方諸機關ニ移シ現在ノ配置ヲ緊縮スルニ決シ十三日歸下各軍隊ニ命令セラル

○武蔵地域今後ノ整備方針ニ就テ

別項ノ如ク武蔵司令官ハ現在、関東武蔵司令官書局發

タガ之ハ決シテ現在各地ニ配備ヤル軍隊ヲ今直ニ撤去スルニ意テハナシ、即チ現在下ノ災害直接ノ状況ニ應ジテ過度ニ兵力ヲ分散シテ配置セテ居リ以テ之ヲ移シテ武蔵今撤去ノ際ニ至ラズ急遽一層ニ兵力ヲ撤去スルハ却テ治安ノ再々ヲ來ス虞ガアルナド地方復興ノ状態ニ順應シ地方警察案其地ノ諸機關ト緊密ナル連絡ノ下ニ逐次配備ヲ緊縮シ兵力ニ依ル個々物件直接ノ整備ハ武蔵司令官ハ地正ニ兵力ヲ集結シ主トシテ巡察ニ依リ整備ヲ持緩ニ武蔵司令官撤去ノ期ヲ待タントスルモノデアル然レテ將來各都府縣隊、一部ニホテハ或ハ移動交代ヲ行ヒ或ハ從來諸ホニ依リテ配置セル個人所在ノ物件連物等ノ整齊武蔵兵力ヲ撤去スルコトアル可キモ全然整齊ヲ撤去スルノチハナク整備ノ方法ヲ待久ニ適スル如ク改メクニ區キナイニテアルカラ美レク王政解決ナキヲ望ム

第九十一号

九月十四日 関東戒嚴司令部發表

露船「レーニン」号退去顛末

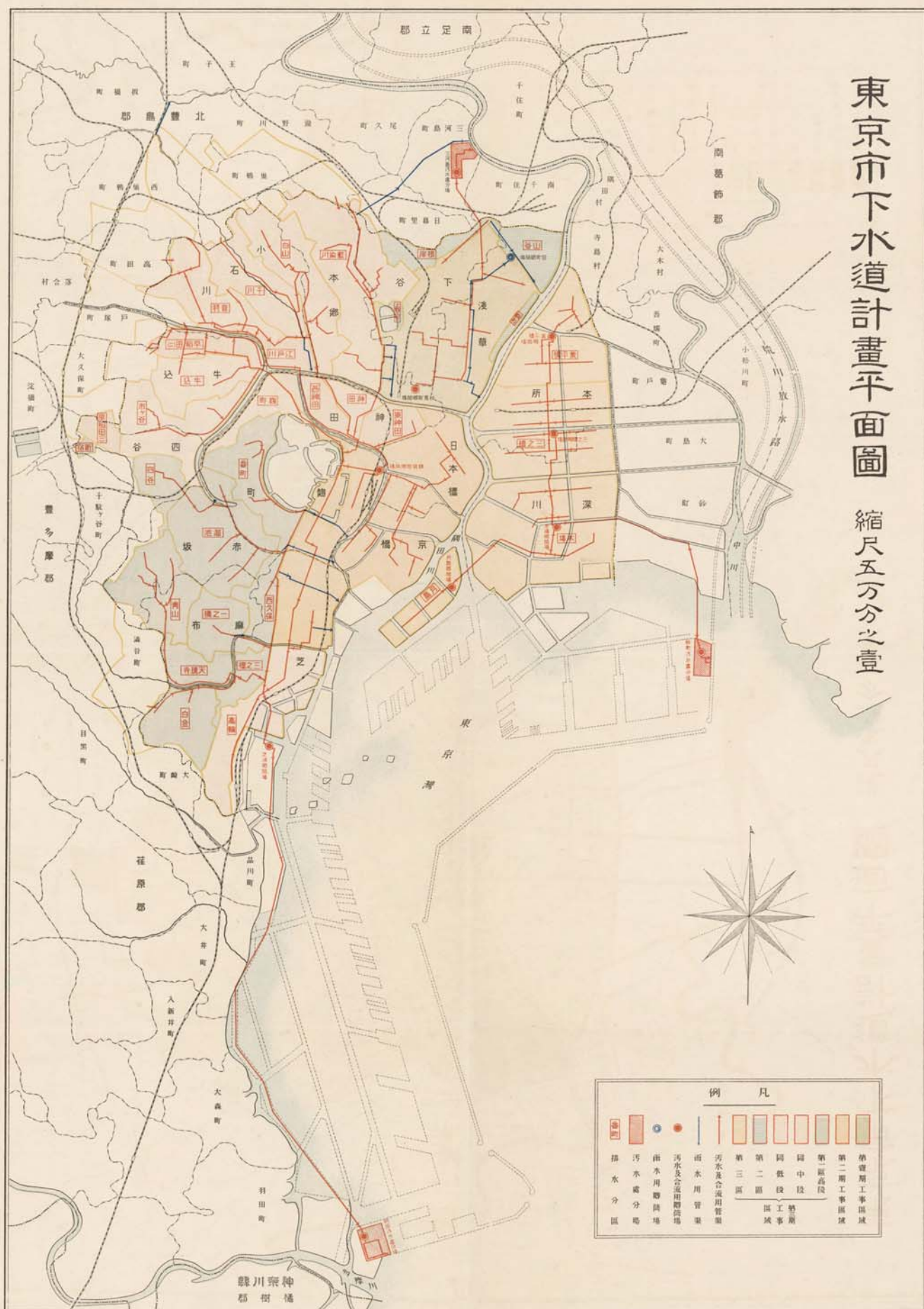
豫々今次ノ震災ノ隆ニ在リ申聞露人ハ旧露國義勇船隊
 此船「シンビリス」号ヲ日本ニ派遣せん計畫アルハ聞知セ
 るカ去ル十日戒嚴司令部ハ救恤局ヲ廣クシテ船「レーニン」号
 及、神奈川ノ所至ヲ尋ズル無條電位ヲ接受せん旨ノ指示
 ニ接シ聞知者方面ト協議ノ上子取敢監視ノ便ナル據後ニ
 来ルシムル通者ト認メ可敷ク回答ヲナシメ同船ハ十二日正
 時據後ノ入港ヤリ

此ハ十三日午前中ニ得タル諸情報據ニ同船乗組員ノ神奈川
 外事課長ニ渡ル所ヲ知合スルハ同船ハ救恤局名トシ革命義
 會及其主義者ノ要宣傳ヲ行フノ使命ヲ有シ且其ノ
 救恤局ハ限定タル範圍ニ據依マキヲ揚言シ或ハ本
 震災ハ日本ニ於ケル革命運成上ノ天ノ使命ナリ等不穩
 ノ言ヲ弄センノ事實アリシコトヲ聞知セラルルニテ戒嚴司令
 員ノ上陸及據依貨物ノ受領ハ斷ク決定ニ赴キ且其ノ
 今後ヨリ地域ノ治安ヲ擾亂スル危險ニシテ断乎トシテ救
 恤局ノ受領ヲ拒絶シ且其船ヲ地域外ニ退去セキコトヲ命令
 ヤリ

右依リ「レーニン」号ハ最重ナル監視ノ下ニ我ノ海軍ヨリ神奈
 川退去ニ要スル要あり神奈川ニ在リ同船ハ其ノ退去スル
 至ナリ、但シ命令ハ依達ノ為メ露船ニ赴キ其ノ戒嚴本部ノ視
 察スル所ニ依リハ搭載貨物ノ大部ハ古布、古燐、古燐、古燐
 等其ノ他ノ貨物ハ之ヲ閲覧シ候ヘキコトヲ指示ス

東京市下水道計畫平面圖

縮尺五万分之壹



東京市附近火災地域及罹災民集居地要圖

九月五日深夜ノ状況

関東戒嚴司令部

備考

● 火災地域
● 罹災民集居地

罹災民ノ數ハ概數ニシテ日々
移動シツヘアリ



九月三日午後六時發行

臨時震災救護事務局情報部

小田原御薄中ノ
間院宮殿下御執事
寛子女王殿下御去
藤澤町去湯沼御薄在中ノ

東久謝宮御正王殿下薨去
東久瀨宮妃殿下、守博王殿下彰常殿下御無事
鎌倉御禮在中ノ
山階宮妃殿下薨去
賀國宮大妃殿下御負傷

橫濱須賀二侍從御派遣

[illegible]

中央氣象臺發表大震經過

[illegible]

用水卜街燈

内一航の通水ヲ開始セシムル見込也(但、船隻等ノ續航セシムルモノヲ除ク)

○左配方面ニ於ケル街役ノ點ハニウイハ極力修繕ノ勢ヲ顯ス次今夜ノ點燈ヲ開始スル見込也

本日、小石川、牛込、四谷、青山、銀座方面ノ一部

四日ノ天氣豫報

中央氣象委員ノ談所ニ依リテ、各地ニ于テ天氣急變入乎ナキヲ以テ豫言スル所ニ據ルニ、明日ハ多分天氣快晴ノ見込也但シテノ難點ハ東京地方ノ

交通機關の現状
通信交通狀況

[illegible][illegible]

陸吾船、但此條鐵道橋者及吾船ニ限ル、海軍省官官ニ申出テ
 出京時刻一時前ヨリ到着スル様ニラレタカシ
 東京大阪間ノ連絡
 海軍ノ東京横濱連絡船ハ横濱ニ至ルニモ横濱清水港間連絡船
 ハ連絡ノ時ヨリ清水ニテ清水港以テ内ノ汽車ニ依リ行ハル

鐵道線路概況

(以下東京市街圖參照)

○東北本線
日島里川口町間四日間通

[illegible]

饒道無負輸送

災害狀況

一、昨夜（即）今晚六時頃

其カラハ、應テ、轉機ヲ發シ、餘國政ヲ共ニ監督シテ、觀セテ、
總カラテ、各方面ニテ、觀察者ヲ、派遣シ、努力シテ、在リ、
、銀行、警察、衛生、地、區、十、九、爲、實、者、三、千、二、百、名、位、其、ノ、他、
小、學、校、ハ、數、百、セ、又、ハ、書、院、ヲ、設、立、シ、加、ヘ、テ、モ、一、萬、二、
千、名、漢、民、ハ、餘、戶、町、大、島、町、砂、町、青、島、町、ハ、入、リ、來、リ、者、約、十、
萬、

一、三田製管内本所澤川方

一、小松川沿管內、倒家屋四百五十戸、内百五十ヶ所潰壊、半
潰死者十八名、傷者約五十名、市內其他ノ潰壊ノ來レザル者
ノ數、重傷傷ノ負ヒタル者、大災ハナシ、約五百名警察署會
演武場集合

管內ノ被災本所、澤用、日本橋、京橋、神田、淺草、
各一、沿川全下、小川、本郷、芝、西町、四谷、

毒坂各區一半燒盡、其他

◎**近府縣震災損害狀況**

靜岡縣 伊豆及駿河支那一帶ノ被害最モ甚シク伊東熱海地
方ニテハタカノ懸崖ト共ニ三日ノ流失セラルモ伊東約千二
百戸熱海約六百戸ニ及ハス目下死體發見セラルノ約百四

十小山御殿堀地方ニ在
約千山御ノ爲メ人家

●**蕨島騒** 死者三名車傷者四名ヲ生シタル被害ノ大ナルモ
●**茨城騒** 茨城縣ニ於テハ死者四傷者七住宅全潰一三半潰九
牽住家四一半潰九九學校全潰一當縣縣土海附近ノ客車轉
覆ノ爲メ死者八傷三十八餘傷二〇日下校庭中

改雙犬

食糧品類々到着

○大坂、兵庫、福岡、

東神奈川農務改善會米約一萬石ヲ備置方面ノ救助ヲ充テ
馬毛屬ニテハ米約十萬石味噌約二十萬貫醬油約五千石干瓢

約五萬貫由千領點魚起以
上輸出ヲ開始セリ

吳ノ發シ四日品川及雄濱ニ到リテノ勢

大阪市民救済運動

大阪市民、救済委員、御礼非常ナル同情ヲナシ大々の救済會ヲ開キ、手ヲセシメテ、又大阪朝日、同毎日、同時事、三新聞社中心トシテ、運動ノ開始セリ（吳駐府長官無難救済運動ヲ省省電）

米國ノ同

[illegible]

○亦十字ハ救護班四ヶ所
ヲ以テ信賴者ヲ救事シ

[illegible]

困難多大ナルハ其ノ地

海軍ノ活動

日刊者スヘシ

二、大船三隻、軍糧春日遊濱、急航中、多分四日到着スヘシ
三、朝鮮船西岸ニ於テ聯合中ナリ
四、護衛船警備ノ爲メ、海路中ナリ
五、輕艇ノ一部及練習隊陸(機)艇、船手、八雲)並各機守庫
所屬ノ機油、八校護食糧治療品ヲ携載シ東京灣ニ集合ノ意ニ

ア

五、軍部に於て及藤田道生二名ヲ有罪ニ列スルノ由ヲ明セシメテ
六、在「ムニラ」ノ米國亞細亞艦隊ノ要員ヲ救護ノ爲メ設ケ奉ル
スヘシトノ報アリ

宋王若于問答卷之二

公 告

大部分ハ頓良

者ニ無之ニ付濫リニ之ヲ迫害シ暴行ヲ加フル等無之様注意セラレ度又不穩ノ點アリト認ムル場合ハ速ニ軍隊警察官ニ通告

セラレ度シ

警視廳

警視廳

集報
第三十三號

九月十三日午後八時發行

御使御差遣

皇后陛下ノ御恩召ニ依テ各救護所及傷病者收容所ヲ御慰問
ハナル、コトトナリ十三日午後二時先ツ左ノ二方面ニ御使ヲ
差遣セラル

宮内省巡回救療班

[illegible]

諸外國ノ同情

[illegible]

米國ノ救援運動

[illegible]

電車運轉狀況

九月十三日 運轉開始 定線左ノ如シ
薩摩原——日比谷間

海軍ノ救護作業

○小笠原へ軍艦視察
小笠原島へ直接視察ナキモ交通線社船糧食欠乏シ
ヲ軍艦松島ハ南伴「パオロ」ヨリ坂路同地寄港ア
○採炭者ノ輸送
視察者地方ノ保護ニ鑑ミ海軍ハ此際臨時ニ春日
横濱發頭船ヲ除却シ十五日海軍兵隊清水ノ海風、風
志九ハ十五日清水ノ派送輸送ニ從事セリト運輸船食
料先ハ不日横浜發着食料ノ供給ホ定期便ハ從來
○清水港ニ於テ採炭者ノ輸送
清水ニ於テ採炭者ノ運輸東京方面ヘノ輸送物資

鐵道ニ依ル東京出入者

九月十一日午後四時ヨリ十二日午後四時迄ニ於ケル
數左ノ通

東京市及附近郡部ニ於ケル米

九月五日以降十二日正午迄ニ報告アリタル移入米
米合計九九、二九五石ニ斗五シテ最近三日間平均
數是ハ二二、五八五石七斗ナリ

活動

腎臟腫ニシテハ傷病者數症並ニ外惡症ノ流行ヲ豫防
診察並ニ消毒並ニ組織シキハ活動ヲ開始セタルヲ
病ノ疑アル者ハ右診察並ニ出テ治療ヲ受テヘシ
一、診察部
診察部ハ醫師二名若連經二名助手一名ヨリ成リ百
スル鑑定シテテ消毒室ヲ市內ノ平方面
ハ於テハ必要トシテ場所ハ配置シ更ニ發見ニ依
據ニハ配置シテ大體十日程度ノ方面ニ、如シ
必要トシテ消毒室、大體十日程度ノ方面ニ、如シ

傳染病研究所ノ活動

傳染病研究所ハ九月二日朝ヨリ傷寒者ノ收容セキ者
午前迄ハ收容セタル患者數ニ二十六人（内醫院七三人
ス）現在患者者三十一人中病弱者七人ナリ
ス血液ノ製造ニ付テハ用意全ク成リタル者相當數量ヲ
アルヲ以テ翌日ハ復日不足ノ憂ナキルヘシ研究所
以下一週二日以來全ク不眠不休ノ努力ヲ續キ居レタ

陸軍救護班活動狀況

一、概況、於此教區作業者、從事セラ、ル教誨所、位置、左ノ如ク、
ノ知、セラ、九日、二、教誨所、ハ使徒者、三名、ナリ、
第三師範教誨所、一、教誨所、青木町小學校、
第四十六師範教誨所、一、本校小學校、
第四師範教誨所、一、野々台小學校、
三、事務、北方面、ハ教誨作業ヲ進修セ、ナリ、於此、セ、アル、
ヲ、新、國、會、ハ、第、一、師、範、教、誨、所、ハ、中、學、ヲ、該、處、一、會、
行、テ、シ、ル、

千葉縣ニ於ケル救護狀況

千早郷、於千早川に難者收容數、十二月現在四千二百七十八人
シテ漸次減少セリ、又其主生ノ方々ノ知ル
船毛村 一三〇
智志野廣合 一、一八七 鐵道警隊 一九〇
市川町 一三一 市川兵營 一、四四三
傷病者收容處

東京ニシテ難者ヲ收容中ナル市川、船橋、津田沼、千葉
四街道、佐倉等ハ衛生主任及看護婦各都府縣官署ヨリ醫務員
員季十名派遣シタルモ、當ノ時ノ屋敷ナク、

醫師會員ト交替救護ニ當

教護所ノ取扱ハ、(一) 養育ニシテ
十二師團教護隊ノ軍醫及看護士三十名易別方面ニ出張大體
ムヲ左記七個所ニ教護所ヲ設ケ治療ニ従事セリ
九月十一日現在患者數

北條山館	百三十五名
北條山館	百三十五名

100 100

八名
 菅原鏡食糧ノ不足住居不完全金ノ糶糶傳染病ノ發生ハ最モ
 懸念ニ堪ヘタル處ナリトシテ以テ之ヲ救済スルシヤ、アヲ救
 ノ不救救者中ノ左記ノ通患者ノ發生ヲ見テ
 千歳 市川 船橋 北條 神戸 計
 赤 廟 七 三 四 五 五 一七
 露チブス

警察官署ハ市町村及衛生組合ヲ管シ一齊

[illegible]

廣告

○青年團、在郷軍人會、病院等ニ於テ此ノ震災公報ノ輸入ノ方ハ名刺ヲ持ツテ外環町町内務大區官邸内臨時震災救護事務局警報部ヘ申出テラレハ差上マス但シ配達ハ致シ覺
キマス

〔公報〕震災彙報
第三十八號

九月十六日午後一時發行

臨時震災救護事務局情報部

(四各見附外、万月堂印刷所印行)

○宮家ノ御下賜金

本十五日臨儀ノ費トシテ秩父宮、高松宮、伏見宮、閑院宮、東伏見宮、華山宮、由隣宮、賀陽宮、久瀨宮、梨本宮、朝香宮、東久瀨宮、北白川宮、竹田宮ヨリ金五拾萬圓御下賜相成リタリ
又晉後藤内膳大臣ニ對シ御沙汰アリタリ

○各宮家ノ御同情

○罹災地ニ於ケル
假設建築物等ニ
關スル勅令

○震災地ニオケル仮設建築物ニ就テ

○大震災善後會ノ
設立

○戒嚴地域今後ノ警備方針

或野司令官ハ其方ニ依ル地方ノ直接警備ハ需與直接ノ關係狀
態ニ對シ臨機實施セルモノニシテ永續シ可キモノニアラザル
ニ鑑ミ民心ヲ鎮靜ス其序ノ恢復ニ伴ヒ警備ノ實行ヲ逐次地方
諸機關ニ移シ現在ノ配置ヲ緊縮スルニ決シ十三日讞下各軍隊
命令スル所アラザル

○戒嚴地域今後ノ警備方針ニ就テ

○東京市水道狀況

區驗事務開始ノ豫定ナルヲ以テ同日此ニ放水
力中ナリ概橋水置工事ハ日下施工中ナリ

○避難民集團地ノ清潔
呆寺

東京市に於ける避難民集團地、公園、道路等、假使所ヲ設ケテ又現存セシ屋敷及路莽ノ始末ニ付一定ノ計畫ノ下ニ採取及種除ヲ努メテ以テ鋭意市內ノ清潔保持ヲ努メテ、アルカ十四日左記避難民集團地ニ人夫六十一名ヲ專断セシメ屋敷及路莽ノ取片付ヲ從事セシムルモノトセシ

○市外避難者狀況

町村名	他町村ヨリ	罹災ノヨリ	傳染病者
西島町	避難者	死亡者	
三〇、〇〇〇			
九			

北豐島郡 (十四日府廳報告)

○警視廳人事相談事務開始

十四日ヨリ訪問本都館ニ天候強キ務所ヲ設ケ東京市中央郵便局ト聯絡アリテ労働者ノ求人受附ヲ爲ス

○乳幼兒ノ爲メニ婦人
團體ノ活動ヲ望ム

○幼兒ト其ノ母ヲ引取ル

鳥取縣島取育兒院、島根縣松江育兒院ニ於テノ今回ノ震災ニ因リ生ケル孤兒、之ト同程度ノ不幸ナル小兒、幼兒ヲ抱ヘテ行方ニ困ル母親ヲ六十人丈收容スル計畫ニ島取市四伯時報記者細田秀太郎ニ委嘱シ上京セシメタリ希望者ハ左記ニ申込ムヘシト

○義捐金調
(十五日)

金壹萬圓	秋田市
金壹萬圓	漢口在留民ヨリ第一圓分(正金經由)
金六萬壹千貳百拾圓	臺灣日本人救濟會(右同)
金拾五萬圓	公爵 島津忠永
金貳拾萬圓	侯爵 淺野長麿

○朝鮮へノ安否通報

兼議院通用門内朝鮮總督府出張員事務所、於テハ關東地方特ニ東京、横濱在任者ニシテ其ノ安否ヲ朝鮮ノ家族、親近者ニ報達セラレヒトスル方ハ宛失、住所氏名ヲ申出ツレハ通報ヲ關リ又朝鮮ニ本籍ヲ有スル方ハ此ノ際本籍、住所氏名ヲ申出

○天氣豫報

今日天氣快復時々驟雨アルヤモ知レズ風強カルヘシ

臨時震災救護事務局情報部

置ヲヨリ取り成ノ變與ニ布ナキ糧食ノ供給ハ飢ニ臨機ノ措
固ヲ取リ或ハ戰合ノ方ナキ糧食ノ供給ハ飢ニ臨機ノ措
ニ着手シ極力流言飛語ヲ禁遏シ非難ヲ察メ民
間亦政府ト相呼應シテ極力救護ヲ授メ義勇ニ出ツ
者多ク爲ニ焦屑ノ急ヲ驅散セシメテ得たり
雖一時ノ救恤ハ以テ災民持久ノ生活ヲ保障ス
ニ足ラズ是ヲ以テ政府ハ鋭意金融機關ノ復
活ヲ圖リ財政ヲ許ス限リニ於テ水陸交通ノ開
通ヲ期シ衣食住ニ圖スルニ必要品ヲ調達シテ遭

等ニ關スル件
ノ施行勅令

會社所ハ此種有ノ天國ヲ寄託シタルモノナリハ
 憂世生活必需品ヲ運用シて國民ヲ福利ヲ延セ
 ムトスルニ在リ此ノ如キハ幾ク或否セサルヘ
 カラス所ニ在リ聖慮ニ注シテ所亦此
 ニ在ス各自能ク其ノ公徳心ヲ發シテ私利ヲ後
 ニシ以テ多數同胞ノ苦樂ヲ共ニ其ノ覺悟ハ
 リヲ要ス例ハ保險事業ノ如キハ其ノ性質上
 社會公衆ナル事業ノ目的トスルヲ以テ
 此ノ重大ナル本圖ニ順ヒ幾ノ事ノ信賴ニ負
 カサルヲ懷シ精神ヲ發揮シテ慎重ノ考慮ヲ
 盡シ當業ニ當リテ利益ヲ期スルモノト雖モ
 木材船舶等ノ營業者亦其ノ營利ノ其ノ他無
 テ物質ノ供給ニ勉メ以テ同胞ニ榮ヲ美ヲ濟サ
 政府ハ今ヤ社會力物質ヲ豐富シ之ヲ分配
 ニ急シセシメ其都府ノ別ナク之ヲ公平ニ分配
 シ勉メテ之ヲ以テ當ルノ所在公吏ハ益々
 初實供給ノ義務ヲ期シテ之ヲ普及シ努力ス
 初一般公民ノ義務トシテ非常ノ場合ニ處シ心身
 ノ許在リ職務ヲ盡サセシメテ其ノ治安ト共
 シ限リテ非違ヲ警メ以テ其責務ヲ完ウスヘ
 本

第四百一十號
大正二年勅令第四百一十二號第五項ノ規定ニ
據リ、地方官廳及私利ノ爲メ、知事ノ
地方官廳ノ行政處
農商務大臣
特許局長官
東京府知事
東京市知事
神奈川縣知事
二、
試問
池田權
特許權
商標
工業所有權之稱法、依テ發生シタル意圖
取引ノ爲メ、假使、假復又、販賣ノ營業
許可可成ルノ地位、權限、權利ノ爲メ、
度量衡權、知事ノ爲メ、效力
轉讓中、販賣ノ效力
共同知事、免許
大正二年勅令第四百一十二號第五項ノ規定
根據、在權限延長、特許ノ納付ニシテ、試驗
正十四年十二月中之ノ納付ニシテ、
附、
公布、
事務局長委員任命
九月十五日公布

天皇陛下ニハ今但皇典ノ根本條メテ惟然ナ
タ深ク軫念アラセラルレ義ニ内帑ノ費壹千萬
ヲ下シ賜ヒ今亦大謂ヲ煥發シテ惠撫庶衆メ
道ヲ示シ給フ不肖就任後日尙淺ク此ノ
以テ命ヲ拜シテ恐懼措ク所ヲ知ラヌ取テ帝都御
興ノ計ヲ立テ以テ上ノ

マラス更ニ進テ將來ノ發展ヲ豫想シ之カ計畫ヲ立テテハカラスノ力爲政府ハ先ツ帝國復興會議會ヲ特設シ朝野ノ輿政ヲ集メテ重要ノ案件ヲ審議シ別ニ適當ノ機關ヲ設ケ緊急要ヲ速テ着々其ノ成案ヲ實施セシメ以テ國都タルノ實ヲ完テシムコトヲ期ス

[illegible]

悉已亡無餘者ヲ云フニ其日久シシテ
 人ニ漸ク淨穢ニ流レ放縱ニ任セ、底底ノ内國
 水ニ濁シ浮草ノ味ヲ精妙ニ嗅取スル所容易
 ニ煩ルノ一轉見スルコト非常ニ難シニ照會
 シテ、實據ノ得シムコト此レ如シ是レ朝野ハ
 一致然レシテ、大ニ憂酷スルニ依リテ顧ミハ
 惟興府縣官政ノ腐蝕、骸肉ノ剥剝、往來ニ難
 レ、今尙延遲出馬ノ憂、一樹ニ至ニ逆命ヲ
 繋テ、情態ニ沈淪シテ苟モ之ヲ問答セハ人々
 相戒メテ罪ヲ去リ、實ニ就實ニ對實ニ依テ得ル
 所ノ餘力ヲ以テ權興同國ノ救亡、實ニ心腸
 萬國ニ達テ寄復シテ事業ニ至リテ援助ヲ與ヘ
 興國ニ奉、固シテ以テ、衆望ニ副ヒ奉ルハ不
 肖ノ切望シ、已マテ所ナリ

大正十一年九月十六日
 內閣總理大臣 伯爵 山本權兵衛

[illegible]

報部

◎燒失直轄諸學校開校
見込

[illegible]

附屬徒工學校へ東京高等工藝學校ヲ假用スル

○生員總數三四〇人
附近ニ校舍トシテ假用スヘキモノナキヲ以テ

一 品川清水間連絡定期船
博定丸、弘濟丸
九月分定期(各船載客人數約六百五〇名)
品川沖發 濟水着 般 名 清水發 品川沖着
午前四時 午後五時 午後六時 午前六時

廿廿
日日
廿廿
日日
甲乙
船船
廿廿
日日
廿廿
日日
廿廿
日日

[illegible]

長野縣 四萬九千三百六拾壹圓

一、金貨買取額 五萬圓
 二、金貨賣取額 五萬圓
 三、銀貨買取額 五萬圓
 四、銀貨賣取額 五萬圓
 五、金貨買取額 五萬圓
 六、金貨賣取額 五萬圓
 七、銀貨買取額 五萬圓
 八、銀貨賣取額 五萬圓
 九、金貨買取額 五萬圓
 十、金貨賣取額 五萬圓
 十一、銀貨買取額 五萬圓
 十二、銀貨賣取額 五萬圓
 十三、金貨買取額 五萬圓
 十四、金貨賣取額 五萬圓
 十五、銀貨買取額 五萬圓
 十六、銀貨賣取額 五萬圓
 十七、金貨買取額 五萬圓
 十八、金貨賣取額 五萬圓
 十九、銀貨買取額 五萬圓
 二十、銀貨賣取額 五萬圓

（四各見附外，万月堂印刷所印行）

臨時震災救護事務局情報部

宮内省發賣

國ノ如ク岸ノ狹狭ト民心ノ安定シテハ無難者ヲレテ
 住地ノ修善ハ復然シテ小屋ヲ建設シテ居住スルハ
 セシメテ今之ニ貢テテ是ヲ考證スルハ大抵彼所ノ
 地ニシテ山ニ面シテ地ハ殊ニ其ノ増進ノ趨勢
 ヲ從テ丘陵、陂池、表町、高野田、越前、高橋、宮
 原町、星田各其地ニ於テハ從來牧放所ノ建設
 者ハ漸次減少シテ然レ共其山設ノバラツキト建設
 者ハ漸次減少シテ然レ共其山設ノバラツキト建設

官市

出八、出九、出十、出十一、出十二、出十三、出十四、出十五、出十六、出十七、出十八、出十九、出二十、出二十一、出二十二、出二十三、出二十四、出二十五、出二十六、出二十七、出二十八、出二十九、出三十、出三十一、出三十二、出三十三、出三十四、出三十五、出三十六、出三十七、出三十八、出三十九、出四十、出四十一、出四十二、出四十三、出四十四、出四十五、出四十六、出四十七、出四十八、出四十九、出五十、出五十一、出五十二、出五十三、出五十四、出五十五、出五十六、出五十七、出五十八、出五十九、出六十、出六十一、出六十二、出六十三、出六十四、出六十五、出六十六、出六十七、出六十八、出六十九、出七十、出七十一、出七十二、出七十三、出七十四、出七十五、出七十六、出七十七、出七十八、出七十九、出八十、出八十一、出八十二、出八十三、出八十四、出八十五、出八十六、出八十七、出八十八、出八十九、出九十、出九十一、出九十二、出九十三、出九十四、出九十五、出九十六、出九十七、出九十八、出九十九、出一百。

○木材ノ到着配給

○罹災支那人ノ保護

○通信狀況

○河川ノ震災應急工事状況

○臨時清水港行軍艦便

姓名 秋 桑
 品川登、二十二日午前五時、僕太書同日夕時
 二十一日正午北之膳樓橋、集合乘艇、コト
 二十日午前九時、海軍省及芝浦棧橋海軍司令館
 へて配付
 食料、各口携行、荷物、手荷物、限所

一、兩國樞臣ニ於テ一車積貨物取扱開始
十五日ヨリ兩國樞臣ニ於テ貸切扱及一車積特種扱貨物ノ取

陸揚人夫	九三〇人
野船數	一三九隻

金壹百圓
累計四千六百四
尙義捐品見積累

二萬九千三百九十九圓

○建築材料販賣締切

○東京市各區別被害建物

町區內被害建物

種類	棟數	失火	半燒	倒置	半潰	潰	合計
住居	八〇七	一七三	一五一	—	—	—	八〇七
官舎公舎	一四六	八二	三八	—	—	—	一四六
官舎公舎	三四二	—	—	—	—	—	三四二
學校圖書館	七三	一四	三三	—	—	—	七三
學校圖書館	七五九	四	—	—	—	—	七五九

神社寺院會堂	一五	五五七	一五	五五七
銀行會社	一三	二〇八六	一三	二〇八六
工場倉庫	二九六	二七四八六	二九六	二七四八六
劇場及娯樂場	一五	三三三一	一五	三三三一
其他	九〇	一〇八一五	九〇	一〇八一五
合計	一〇四八	三六六九〇	一〇四八	三六六九〇

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

官舍公會	九	一〇八	二二	九
學校及圖書館	七〇	一八二	一一	二二〇
神社及講堂	二〇四	四四	五五	二〇四
銀行公會	一五八	〇六	二二	七二〇
工場倉庫	六九五	一六	二二	四二二
劇場及娛樂場	五〇三	九二	二二	五〇〇
	二二	二六	五六	四八八
	二二	二六	四四	二二六

合計	二五八七・六五四三・三三六・五八一・一	一七三三・五〇六・六六〇・五八
船名	オーストラリア	救恤品
噸位	一、六〇〇噸	陸貨
船主	陸揚船務株式會社	董事職位
船種	十七日荷役噸數	一、六〇〇噸

[illegible]

(四書是附外 万月堂印刷所印行)

○建築材料販賣締切

東京市は十月十八日、十一月の月報を公表し、開始以來十月十五日より一週に於ける消費額を、開始以來十月十五日迄の受附人員は二萬四百八十一人、現品の配給は五萬七千九百九十八人、食糧配給は六萬六千五百八十一人此等と要求者との對照より、食糧材料の引渡し急キタリ、現品の板穀類一萬石、生シヤ、タ、建築の主要品タ、往々類へ市中で營業者同様に材料騰貴、折柄本市への

其用材（學校、區役所、市場等）トヲ合セ約十
（公共用）ヲ購入シ君々割産シテ、アルヲ以テ近

○營業別損失工場及其生産額

東京市內に於ける船舶失火損數一六千九百六十二噸にシテ其從業職工七萬三千三百八十八人ナリ之等失火損數に於ける人生業ノ損害程度如何ナルカハ正確ナル調査材料ヲ得難シクシテ今大正十一年中ニ於ける生産額總計推計報告ニ就て之を概観スレバ損失工場ニ於ける十一年間ノ生産額總計三億八千萬圓

ワ下ラダケキキ	工場種別中分類ニ依ラテ分ナル工場數及生産価額	大正十一年中ノ 生産價額
工場種別	工場數	
紡織工業	製糸業	三二、六〇圓
紡織業	三	一三、六〇一、五二九

製絲業	二二三	六四、七二七
製絲業	二二四	三九一、二五四
織物業	三三〇	六三五、九四四
染色整理其他加工業	二六四	五、〇二九、七六〇
組物編物業	一四六	六、六二七、四四六
雜業	九	一四五、二七〇

[illegible][illegible]

化學製品製造業	七、四〇六
石油及煤製品製造業	三、九四〇
煉油業	一、五八二
燃料製造業	四、六八七
肥料製造業	一、六一八
人造肥料業	四、九四八
計	三七九九
飲食物工場	四、八四五
其他	一、三五六
合計	一、三五六

製糖業	一	一、五五八、五九八
製茶業	一	一八〇、〇〇〇
製穀粉業	一、四三八	二、三、八、九二、四六五
製水業	一〇	一、六五七、三八〇
佛造飲料水製造業	三一	二、三、三、八二〇
菓子製造業	三六六	九、六五五、六五六

總計	一一	九四六、九三五
建築業	一一	二二〇、二二五
礦業	八	一、五四二、四一六
製造業	五四	五七、一一〇、五〇
水產品製造業	四〇八	
林業	二、三六三	

[illegible]

特別工場	四	七一、九四七
電氣工業	八	一四、二一〇六九四
金屬製煉業		
特別工業		
瓦、新工業	一	五、九二三四一二
計	二三	二〇、二〇六〇五三

震災彙報

神奈川版

臨時震災救護事務局

第一號 目次

- 一、戒嚴令
- 二、非常戒嚴令
- 三、治安維持ノ爲メノ戒嚴令
- 四、私路上ノ暴行ノ爲メノ戒嚴令及手形等ノ權利保存行爲
- 五、暴行取締ノ關スル緊急令
- 六、賭博取締令
- 七、郵便及電信
- 八、警察委員會并金川縣支那機關示諭
- 九、汽車時刻表
- 十、失 實
- 十一、海軍ノ活動状況
- 十二、陸軍編制状況
- 十三、廣 告

第二號目次

- 二、神奈川縣／黃金
- 三、內務省／煤礦
- 四、內務大臣來函概數
- 五、橫濱／牧畜設備
- 六、飲料／牛奶、烘乾
- 七、海軍／神奈川方面之活動
- 八、外國人／被殺害者通數狀況
- 九、關西市街／治安
- 十、中華民國借款通數
- 十一、關西市街／治安概數
- 十二、縣下／郵政通數
- 十三、關西市街／概況

第三 雙目次

- 二、傳御遊進
- 三、米國海運難民險急
- 四、米米低比其方就ヲ
- 五、カサツ建設ノ計畫
- 六、小田方面難民ノ狀況
- 七、貧民救濟ノ狀況
- 八、葛尾川ノ金魚捕獲ノ支那捕魚及生形等ノ權利保存行為
- 九、米穀生牛肉及生肉ノ輸入稅後免除
- 十、朝鮮米價付加額關稅ノ輸入稅後免除
- 十一、電報電信料ノ現金ノ可ナリ
- 十二、電報電信停止

無線電信禁止

- 十五、各種校園衛生管理
十六、傳染病之調查及預防
第四編 目次
一、經費與衛生衛生
二、課外活動與衛生
三、英國衛生與我國衛生之比較
四、定海道衛生調查報告
五、橫濱一、於二、道路交通
六、東京市衛生警察局長之演說
七、神戶市衛生警察局長之演說
八、配給食料上之寄附者
九、飲料水
十、運動會
十一、學校衛生
十二、學校衛生
十三、學校衛生
十四、學校衛生
十五、學校衛生
十六、學校衛生
十七、學校衛生
十八、學校衛生
十九、學校衛生
二十、學校衛生
二十一、學校衛生
二十二、學校衛生
二十三、學校衛生
二十四、學校衛生
二十五、學校衛生
二十六、學校衛生
二十七、學校衛生
二十八、學校衛生
二十九、學校衛生
三十、學校衛生
三十一、學校衛生
三十二、學校衛生
三十三、學校衛生
三十四、學校衛生
三十五、學校衛生
三十六、學校衛生
三十七、學校衛生
三十八、學校衛生
三十九、學校衛生
四十、學校衛生
四十一、學校衛生
四十二、學校衛生
四十三、學校衛生
四十四、學校衛生
四十五、學校衛生
四十六、學校衛生
四十七、學校衛生
四十八、學校衛生
四十九、學校衛生
五十、學校衛生
五十一、學校衛生
五十二、學校衛生
五十三、學校衛生
五十四、學校衛生
五十五、學校衛生
五十六、學校衛生
五十七、學校衛生
五十八、學校衛生
五十九、學校衛生
六十、學校衛生
六十一、學校衛生
六十二、學校衛生
六十三、學校衛生
六十四、學校衛生
六十五、學校衛生
六十六、學校衛生
六十七、學校衛生
六十八、學校衛生
六十九、學校衛生
七十、學校衛生
七十一、學校衛生
七十二、學校衛生
七十三、學校衛生
七十四、學校衛生
七十五、學校衛生
七十六、學校衛生
七十七、學校衛生
七十八、學校衛生
七十九、學校衛生
八十、學校衛生
八十一、學校衛生
八十二、學校衛生
八十三、學校衛生
八十四、學校衛生
八十五、學校衛生
八十六、學校衛生
八十七、學校衛生
八十八、學校衛生
八十九、學校衛生
九十、學校衛生
九十一、學校衛生
九十二、學校衛生
九十三、學校衛生
九十四、學校衛生
九十五、學校衛生
九十六、學校衛生
九十七、學校衛生
九十八、學校衛生
九十九、學校衛生
一百、學校衛生

○ 曉路 二 行 夕 十

- 第五號 目次
- 一、帝國直轄之關税ノ調査ニ關スルモノ
二、關税大使ノ對策
三、在露亞細亞政府ノ關係
四、在露亞細亞政府ノ關係
五、海軍「リッパ」ノ研究
六、鐵道鐵道到車
七、電報ノ供給
八、天氣豫報
九、廣 告
- 第六號 目次
- 一、帝國會議員任職に關スルモノ
二、帝國會議員任職に關スルモノ
三、帝國會議員任職に關スルモノ
四、帝國會議員任職に關スルモノ
五、帝國會議員任職に關スルモノ
六、帝國會議員任職に關スルモノ
七、帝國會議員任職に關スルモノ
八、帝國會議員任職に關スルモノ
九、帝國會議員任職に關スルモノ
十、帝國會議員任職に關スルモノ

精必需品土木建築材料機

- 三、行區分：(一)按軍事系統：有駐
- 四、警備部增員
- 五、所得稅費需稅之戒免納鹽
- 六、酒稅制却煙草雜稅之裁實總覽
- 七、糖漬之於茶家配製
- 八、陸軍官兵待遇委員權派出機關
- 九、橫濱關公水庫

第七號目次

- 一、宮內省並御役所
- 二、病者御座敷
- 三、米國ノ役役所
- 四、米國ノ同僚
- 五、海軍ノ教習ノ神樂殿
- 六、海軍ノ教習ノ所
- 七、東京市區ノ死者御座敷御座敷
- 八、神奈川縣ノ死者御座敷
- 九、神戶市區ノ死者御座敷
- 十、神戶市區ノ死者御座敷
- 十一、神戶市區ノ死者御座敷
- 十二、神戶市區ノ死者御座敷
- 十三、神戶市區ノ死者御座敷
- 十四、神戶市區ノ死者御座敷
- 十五、神戶市區ノ死者御座敷
- 十六、神戶市區ノ死者御座敷
- 十七、神戶市區ノ死者御座敷
- 十八、神戶市區ノ死者御座敷
- 十九、神戶市區ノ死者御座敷
- 二十、神戶市區ノ死者御座敷

第八號目次

- 一、特別大津習及師範學校預科生取止
- 二、黑田研生會より救世計畫
- 三、米岡ノ同郷
- 四、支那ノ慈善ノ興隆物品
- 五、雜品・金品
- 六、雜品・金品
- 七、軍艦山崎兵衛商店會
- 八、貨物・雜品
- 九、雜品・金品
- 十、鐵道內有交易禁止
- 十一、鋼板・金品・「バラタラ」建設
- 十二、鋼板・金品・木村君ノ使用ノ事故及着手中モノ
- 十三、職業安全ノ建設者紹介

運輸交通一覽

- 第九編 目次
- 一、芝罘之倭寇討伐
二、芝罘官商被害
三、芝罘之「德意志」與其影響
四、諸外國之同情
五、橫濱市之船水狀況
六、公設之市場
七、井水之汚染
八、肺病之爲害
九、芝罘衛生之改善
一〇、芝罘市戶口調查之進行開始
一一、橫濱市戶口之供給

檳榔嶼市小學校ノ始メ同類

- [illegible]

備 份 入 庫

- 一〇、北日本汽船、無賃船給
一一、內務省、御奉見
一二、天氣、豫一報
- 第十號 日次
- 一、櫻井壯吉君墓前演說（海軍局會）
二、官家對下訓金
三、各官家御問答
四、內閣、告急
五、勸令西國百十五號
六、櫻井壯吉、於此、假設建築物、圖、（勸令）
七、同前、（圖）內、御次官、
八、櫻井壯吉、遊藝者、

氣 神 經

- 第十二號 目次

貿易第三回調査報告

- 八、續派市公債利息
九、續派市公債利息
一〇、自營團、取組、號
一一、自營團、取組、號
一二、續派市公債利息
一三、續派市公債利息
一四、天氣、電報
- 第十三號 目次
- 一、續派市公債利息
二、續派市公債利息
三、續派市公債利息
四、天氣、電報

民之日常必需諸物品ノ給

- 七、煤炭之輸入と保護
八、煤質市ノ状況及狀況ノ調節部同收
九、煤質貿易ノ制限
一〇、三陽平爲附近ノ土地墾
一一、海軍軍艦ノ修理ノ國民移
一二、海軍工務總隊ノ整理
一三、鐵道地方稅利及金貨組合設置
一四、養蠶及金品
一五、天氣保護
- 第十四章 目次
- 一、借款附下ノ煤炭及煤礦
二、各官廳下之煤礦

實屬有用無異於

- 五、對露與泰國關係
- 六、滿洲、滿洲國、滿洲
- 七、外國(支那、滿洲、物資、支那)
- 八、經濟市內貿易與民生、金融
- 九、經濟、社會、交通
- 一〇、運輸、航空
- 一一、入失、開始狀況
- 一二、入失、繼續狀況
- 一三、滿洲金融方針決定
- 一四、滿洲有入失方
- 一五、滿洲金品
- 一六、天氣、氣候

111

- 二、同院會同議務
- 三、各部復原會議官制
- 四、籌備復原會議會址及院舍
- 五、生活必需品其他應辦院務
- 六、辦理財政預算及追加
- 七、整理貨物稅關
- 八、研究利用駐紮經濟狀況
- 九、備置糧食東西糧
- 一〇、恢復院東西糧關係
- 一一、今日之新加坡可說現金之壟
- 一二、在聯邦及昔年國幣路稅貨乘船單
- 一三、金
- 一四、稅金

氣豫和

- 第十六號 目次
- 一、埼玉縣下、待從朝臣
二、李王公親王下、波瀲宮下、宮中、殿中、侍從、特選、候選
三、福安兒童、教育施設
四、東國兒童、教育施設
五、海外、同僑
六、國際交通、信
七、ラヂオ、建設成功
八、經濟方面、影響者
九、經濟市況、狀況、見
一〇、島川、對我國、交通、影響
一一、朝鮮、民衆、經濟、動向

告（宮内省）

- 一三、義和團金品
一四、天氣豫報

(公報) 震災彙報

神奈川版 第九號

九月十五日午前十一時發行
臨時震災救護事務局 情報部

○芝浦三侍從御差遣

十三日午後三時、侍從、三侍從、御差遣。思召、供仕、芝浦、於、タテ、檢査、狀、況、ヲ、視、察、シ、更、ニ、澤、川、方面、ノ、遺、災、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。

○皇后宮御使御差遣

十三日、皇后宮、御使、三侍從、御差遣。思召、供仕、芝浦、於、タテ、檢査、狀、況、ヲ、視、察、シ、更、ニ、澤、川、方面、ノ、遺、災、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。

○勇取ナル巡查ノ御眞影

九月一日、大宮、芝浦、方面、ノ、遺、災、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。勇取ナル、巡查ノ、御眞影、ヲ、呈、上、シ、タ、ル。

○諸外國ノ同情

九月一日、大宮、芝浦、方面、ノ、遺、災、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。諸外國、ノ、同情、ヲ、示、シ、タ、ル。

○横濱市給水狀況

本道、入口、給水、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。横濱市、給水、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。

○公設市場賣出

九月一日、大宮、芝浦、方面、ノ、遺、災、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。公設市場、賣出、狀、況、ヲ、視、察、シ、タ、ル。

○井戸水ノ容易ナ消毒法

井戸水、ノ、消毒、法、ヲ、示、シ、タ、ル。消毒、法、ヲ、示、シ、タ、ル。

○乳幼児ノ爲メニ各種婦人團體ノ活動ヲ望ム

乳幼児、ノ、爲メ、ニ、各種婦人團體、ノ、活動、ヲ、望ム。活動、ヲ、望ム。

○避難者便乗船舶發港豫定

避難者、便乗船舶、發港、豫定、表、ヲ、示、シ、タ、ル。豫定、表、ヲ、示、シ、タ、ル。

○京濱神戸間連絡船定期航行開始

京濱、神戸、間、連絡船、定期、航行、開始。航行、開始。

○横須賀市ノ瓦斯供給

横須賀市、瓦斯、供給、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。瓦斯、供給、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。

○小學校ノ始業困難

小學校、始業、困難、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。始業、困難、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。

○青年團ノ活動

青年團、活動、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。活動、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。

○横濱市救護班患者取扱數

横濱市、救護班、患者、取扱數、表、ヲ、示、シ、タ、ル。取扱數、表、ヲ、示、シ、タ、ル。

○樺太鐵道ノ無貨檢送

樺太鐵道、無貨、檢送、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。無貨、檢送、狀、況、ヲ、示、シ、タ、ル。

○義捐金品

義捐金品、表、ヲ、示、シ、タ、ル。義捐金品、表、ヲ、示、シ、タ、ル。

廣告

廣告、表、ヲ、示、シ、タ、ル。廣告、表、ヲ、示、シ、タ、ル。

臨時震災救護事務局神奈川支部

臨時震災救護事務局神奈川支部、表、ヲ、示、シ、タ、ル。臨時震災救護事務局神奈川支部、表、ヲ、示、シ、タ、ル。

(公報) 震災彙報

神奈川版 第九號

九月十五日午前十一時發行

臨時震災救護事務局 情報部

○芝浦ニ侍從御差遣

十三日午後北小倉警察署「御差遣」思召。依テ芝浦ニ於テハ檢査状況ヲ視察シテ、御用方面ノ監視状況ヲ視察シテ、

○皇后宮御使御差遣

奉戴 九月一日、皇后陛下ノ退下ノ際、同日三時、皇后宮事務官ヲ、

○勇敢ナル巡查ノ御眞影

九月一日、大田區芝浦、芝浦區吉田町第一、日枝小學校、赤

○諸外國ノ同情

○本國新聞 本國新聞、九月十日、日、各報、

○横濱市給水狀況

水進入入口、九月一日、約十萬石、給水ノ支障ナ

○公設市場賣出

横濱市、九月一日、公設市場、賣出ノ結果、

○井戸水ノ容易ナ消毒法

井戸水ノ消毒法、九月一日、消毒ノ方法、

○乳幼児ノ爲メニ各種婦人團體ノ活動ヲ望ム

事務局、九月一日、乳幼児ノ爲メ、各種婦人團體ノ活動ヲ望ム

○避難者便乗艦船發港豫定

豫定 九月一日、避難者便乗艦船發港豫定

○京濱神戸間連絡船定期航行開始

九月一日、京濱神戸間連絡船定期航行開始

○横須賀市ノ瓦斯供給

横須賀市、九月一日、瓦斯供給ノ状況

○小學校ノ始業困難

九月一日、小學校ノ始業困難ノ状況

○青年團ノ活動

九月一日、青年團ノ活動ノ状況

○横濱市救護班患者取扱數

九月一日、横濱市救護班患者取扱數

○樺太鐵道ノ無賃輸送

九月一日、樺太鐵道ノ無賃輸送ノ状況

○義捐金品

九月一日、義捐金品ノ状況

廣告

臨時震災救護事務局、廣告

廣告

臨時震災救護事務局、廣告

事務大

御覽濟ミノ上ハ往來ノ見易キ場所ニ貼テ下サシ

公報 震災彙報 神奈川版 第十二號

臨時震災救護事務局 情報部

九月十七日年發行

○罹災社會事業團體へ御下賜金ニ就テ

○内閣恩給局長ノ管掌ニ係ル恩給退隱料及遺族扶助料等ノ支給期日及證書原本交付ニ關スル件

○大震災善後會ノ設立

○戒嚴地域今後ノ警備方針

○戒嚴地域今後ノ警備方針

○戒嚴地域今後ノ警備方針

○諸外國ノ同情

○横濱市第三回震災報告

○横濱市飲料水

○横濱市夫賃改定

○自動車用油類配給

○自警團ノ取締ニ就テ

○横濱市及隣接地内傳染病發生狀況

○事務局委員任命

○天氣豫報

○事務局委員任命

○天氣豫報

内務省
御覽濟ミノ上ハ往來ノ見易キ場所ニ貼テ下サイ

(公報) 震災彙報 神奈川版 第十六號

九月二十一日正午發行

臨時震災救護事務局 情報部

○埼玉縣下ニ侍從御差遣

二十日、兩陛下ノ恩召ニ依リ侍從御差遣ヲ吳宮使臣トシテ、埼玉縣下ニ派遣ス。同日侍從ハ午前七時自東京ニテ東京市ヲ出發シテ、

○李王公族殿下並貴族ノ震災慰問特使派遣

今、李王公族殿下並貴族ノ震災慰問特使派遣ス。李王公族殿下並貴族ノ震災慰問特使派遣ス。李王公族殿下並貴族ノ震災慰問特使派遣ス。

○罹災兒童ノ教育施設

今、罹災兒童ノ教育施設ス。罹災兒童ノ教育施設ス。罹災兒童ノ教育施設ス。罹災兒童ノ教育施設ス。

○米國東洋艦隊一先引上ケ

アメリカ東洋艦隊一先引上ケ。アメリカ東洋艦隊一先引上ケ。アメリカ東洋艦隊一先引上ケ。アメリカ東洋艦隊一先引上ケ。

○諸外國ノ同情

諸外國ノ同情。諸外國ノ同情。諸外國ノ同情。諸外國ノ同情。諸外國ノ同情。

○運輸交通通信

運輸交通通信。運輸交通通信。運輸交通通信。運輸交通通信。運輸交通通信。

○バラック建設竣工

バラック建設竣工。バラック建設竣工。バラック建設竣工。バラック建設竣工。バラック建設竣工。

○横濱方面避難者輸送状況

避難者輸送状況	輸送方法	輸送回数	輸送人数
横濱方面	鉄道	10回	1000人
横濱方面	バス	5回	500人
横濱方面	トラック	3回	300人
横濱方面	船舶	2回	200人
横濱方面	その他	1回	100人

○横濱市震災状況調

震災状況調	被災状況	救助状況
横濱市	被災者数	救助者数
横濱市	被災者数	救助者数
横濱市	被災者数	救助者数
横濱市	被災者数	救助者数
横濱市	被災者数	救助者数

○品川横須賀間交通機関

品川横須賀間交通機関。品川横須賀間交通機関。品川横須賀間交通機関。品川横須賀間交通機関。

○避難民車輦輸送

避難民車輦輸送。避難民車輦輸送。避難民車輦輸送。避難民車輦輸送。避難民車輦輸送。

○義捐金品

義捐金品。義捐金品。義捐金品。義捐金品。義捐金品。

○天候概報

天候概報。天候概報。天候概報。天候概報。天候概報。